京城日報

廿八日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢(郵送料前金)三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲欄内一行金壹圓貳拾錢 ▲特別欄定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直殿 印刷人 巻口政太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話編輯用 三四五番 營業用 二二六番 一二四番 振替貯金口座京城三〇〇番

第三十七回帝國議會

衆議院(二十七日)

▲最後の議長苛め

衆議院は二十七日午後一時五分開會、議場いつになく活氣を呈せり島田議長は書記官をして政府の答辯其他を朗讀せしむ劈頭廣岡宇一郎氏(政友)議事進行に就き發言を求め本期議會開會以來屢々紛擾を來せしは一に島田議長の責任と謂はざるべからず花井早速兩副議長の議長席にある際は斯の如き事なくして島田議長に於てのみ獨り此の事あるは偶々以て紛擾の責一に島田議長に存するを證するにあらずやと島田議長に喰つて懸り猶昨日の議場に於ける議長の措置を難じ議長の處決を促し在野黨の拍手と與黨の怒號とを浴びつゝ降壇小泉又次郎氏(同志)登壇島田議長不信任ならば何ぞ男らしく彈劾案を出さゞる議會の紛擾は議長の責にあらずして議員一同の責任なり議員一同の責任を掴り議長に嫁せんとするは何ぞと罵倒頗る努む望月長夫氏(國民)登壇昨日議長は採決間際に至り突然散會を宣したるは各派が議事進行に就き協議したる精神に悖る事甚だしと與黨の怒罵を受けつゝ降壇此の時山口俊一氏(同志)討論終結の動議を提出し議長の處決する迄總ての討議を中止すべしとの廣岡氏の動議に就き記名投票を行ひたる結果可とする者百八否とする者百九十にて否決され漸く日程に入り

▲人權案無期延期

人權問題の人權案に入る

人權保護に關する法律案

刑事訴訟法中改正法律案

右二案を一括して議題とし大塲茂馬氏(無所屬)登壇司法當局は檢事又は豫審判事の脅喝詐言を禁ずる意志なきかとて長々しき質問を試みたるも低聲なるが上に與黨側より散々冷罵を浴せ懸けられ議場騷然として聽き取る能はず之に對し尾崎法相は脅喝詐言の不可なるは言ふまでもなく檢事豫審官の不法行爲に對しては今日の法規を以て充分足れりと信ず斯の如き愚案は貴族院を通過せずと信ずるが故に刑事に就ては調査せずと明快に駁撃し猶一二の問答あり高木益太郎氏(國民)余は少數黨の陣笠也權威なき尾崎法相に對し不信任を提出する如きことなしと大喝し日本辯護士協會は尾崎法相に對し不信任を決議せり辯護士協會員中には花井氏を首め與黨の辯護士も皆會員なり而して法相不信任に對しては一人の反對したる者あらずと例の如く皮肉澤山の質問をなし尾崎法相は高木氏は質問に名を假り博識多才を披露したるに過ぎずと反駁的辯明を爲し片岡直温氏(同志)本員は同志會を代表し本案に贊成する者なり而して贊成理由は委員長報告通りにして法相彈劾の如き意味は毫もなしと述べ議長は動議の提出あり人權保護に關する法律案外一件は延期すべしとの動議を朗讀し花井卓藏氏(中正)之が理由を説明せんとして登壇するや政國兩黨は花井氏の爲に惜む花井氏の名聲茲に墜つと呼び花井氏の所論を聽かず花井氏漸く本案の内容實質に就ては必ずしも反對せざるも猶充分の考慮を要す而して會期切迫の今日貴族院に廻附するも同院の通過は見る能はず依つて之を延期せんとすと述べ降壇横田千之助氏(政友)登壇するや與黨盛んに妨害したるも横田氏は構はず花井氏は案其ものは反對にあらずと言明しながら本案を延期せんとするは與黨内訌の結果に依るならずやと喝破し次で高梨覺太郎氏(國民)黨略の爲とならば格別一時の理由を附して反對せんが如きは卑怯極まれり花井氏の延期動議は貴重なる人權問題を黨略に供せるものなりと痛快に反對し討論終結採決を爲すため投票を行ひ開票の結果可とする者百八十八否とする者百十七にて花井氏の動議は多數にて成立し人權保護法案は無期延期に決し

▲鮮米と保險案

日程に入り

北海道會法中改正法律案 貴族院修正通り可決

明治四十年法律第十一號中改正法律案 山根正次氏(同志)の報告通り可決

國籍法中改正法律案 森田小六郎氏(中正)の報告通り可決

齒科醫師法中改正法律案 貴族院修正通り可決

罹災救助基金法中改正法律案 之亦異議なく可決

特許法中改正法律案 實用新案法中改正法律案 織田了氏(同志)の報告通り可決

重要物産同業組合法中改正法律案 小山松壽氏(公友)の報告通り可決

郡制法中改正法律案 横山金太郎氏(中正)の報告通り可決

大正三年法律第十七號廢止法律案(即ち鮮米課税復舊案)

淺野陽吉氏(同志)朝鮮の農事改良上のものなりとて政府の反對ありたるも本案通過は朝鮮の發達を阻害するものなりと述べ降壇するや議長は書記官をして簡易保險法案を貴族院より受領したる旨を報告せしめ次で松本主税局長本案反對の趣旨を述べ次に田村新吉氏(公友)は十七號廢止法律案に關し朝鮮は外國にあらず然るに外國米と同一の課税を朝鮮米に課せんとするは不可なりと反對し川崎安之助氏(中正)本案は米價調節策の一端にして即ち農民救濟なりと原案に贊成し討論終結採決を記名投票に決し開票の結果原案を可とする者百十六否とする者百三十二にて十六の差を以て否決せられたり

此の時鶴田又一氏(同志)の動議にて貴族院廻附の簡易生命保險法案を議題とし議長貴族院の修正個條を報告し討論に入り片岡直温氏(同志)簡單に修正に不同意なる旨を述べ古谷久綱氏(政友)の贊成あり採決の結果滿塲一致貴族院の修正を否決するに決し鶴田又一氏(同志)委員協議會は當然開かるべきを以て委員十名を選擧すべしと提議し野添宗三氏(國民)議長指名とすべしと發議し採決の結果投票選擧に決し直に選擧を行ふ此時政國兩黨は棄權して一名も投票を行はず開票の結果左の十名當選す、

片岡直温氏(同志)濱口雄幸氏(同志)安達謙藏氏(同志)加藤小太郎氏(同志)山田珠一氏(同志)武内作平氏(同志)大西五一郎氏(中正)戸叶薫雄氏(公友)下岡忠治氏(公友)丸山芳介氏(國民)

司法代書人法案 川登政官の報告ありたるも杉山東太郎氏(同志)の報告通り可決

酒造税法中改正法律案 金子元三郎氏(公友)の報告松本政府委員の反對ありたるも報告通り可決

此時議員定數を缺ぎたるを以て議長散會を宣す時に六時二十分(東京特電延著)

◎廿八日の兩院

貴衆兩院は二十八日午前十時より會議を開きたり(東京電報)

◎貴衆兩院協議會

貴衆兩院は二十八日午前九時より協議會を開けり(東京電報)

◎保險案の運命

簡易保險法案は衆議院が貴族院の修正案に盲從せざる限り兩院協議會開會の結果丸潰れとなるべしと觀測する者あり(東京電報)

◎現内閣の基礎

第三十七議會は愈々無事終了せるも現内閣の基礎に動搖を來せるは事實なりといふ者あり(東京電報)

◎南北兩軍瀘州に鎬を削る

重慶來電に據れば南北兩軍は瀘州に於て互に鎬を削りて交戰正に酣なりと(東京電報)

◎獨兵屍の山

ヴエルダンの激戰にて獨軍損害更に十萬を加ふ

二十六日發表されたる佛國公報に據れば佛軍が二十六日朝獨軍の爲に占領されたるヴエルダン前面の要塞ドーモンを奪還せることを主張せりヴエルダンに於ける戰闘が一時中止されたりと云はれたるも其は暫時の間にして獨軍は再び猛烈なる攻擊を開始したり而して獨軍が死力を盡しつゝあるはドーモンよりマーチヴエルに至るの沿道にして更らに他の新鋭なる獨兵は二十六日拂曉よりコート、ド、ヴオーヴルに向つて突擊したるが佛軍砲兵は獨軍に比し多くの臼砲を有し居れば今日迄の形勢は守勢を取れる佛軍に有利なりし而して此の戰闘により獨軍の損害は更に十萬を加へたる見込にて地上は獨兵の屍を以て山を築けり(紐育電報)

▲獨兵五十萬の集中

ドーモン砲臺奪取戰争や酣にして獨逸皇太子の率ゆる一隊はヴエルダン強襲を企て盡し兵五十萬を集中しつゝあり(東京電報)

◎獨軍巴里包圍を策す

獨軍は春季に入るを俟ち巴里を包圍せんと畫策中なり(倫敦電報)

◎獨土軍の總退却

露軍之を追擊中

露都來電に依れば波斯に於ける數回の戰闘後敵の殘兵は獨軍及土軍が二路の山道に防禦工事を施したるケルマンシヤー地方に集中せり露軍は當時難攻不落と思ひたるビデサル峠に強襲を行ひ且サクネ峠を奪取しケルマンシヤー方面に總退却を行へる獨土軍を追擊中なり露軍は大砲及び機關銃及び多量の彈藥を鹵獲せり(倫敦電報)

◎ケ占領確實

露軍は強襲を行ひてケルマンシヤーを確實に占領せり(露都電報)

◎對支大會決議

對支國論統一有志大會は二十七日夜開會支那動亂は北京政府の全然失政にして袁總統の帝位に即くを飽迄排斥す而支那に於ける革命黨の擧兵は至當の措置なりと決議し其旨直に政府に通告する處ありたり(東京電報)

◎鑛業令施行期

附則發布さる

鑛業令施行期日並に之れに伴ふ朝鮮鑛業令施行規則、朝鮮鑛業登錄規則は二十九日の官報を以て發布の事となれり、本令の施行期日は既記の如く四月一日にして施行規則は全文八十四條、登錄規則は全文四十八條より成り其施行規則は鑛業令第九條第一項の規定に拘らず鑛業の出願を區分する地域(咸鏡南道甲山郡外廿五箇所)を規定せるものにして前條の地域に對する特定の鑛種は金を除きし石炭外數種也

▲施行期と出願

新鑛業令は新鑛物十數種を規定せることゝて在來の鑛物に就きては左したる出願は之なかるべきも新鑛種に對しては施行當日必ずや多數の出願ある可しと豫期せらる、殊に從來土石として取扱はれたる重石鑛の如きは鑛業令施行の結果一時金銀鑛として其採取方を出願したるもの尠からざるが之等は何れも施行期を以て鑛種名の變更届を提出すること勿論なる可ければ非常の輻輳を極むべくさらぬも近時出願件數激増の爲め未處分件數尠からざる今日ならば從つて其處分に就きては多少の遲延を免れざる可しと觀測さる

◎陸軍藥品賣下

我が陸軍省にては歐洲大戰の影響として藥品の暴騰し一般醫界の困境に在る狀勢に鑑み之が救濟の調節策として此程其所管赤十字社病院衞戍病院等に收藏せし藥品の賣下を行ひたるに東京大阪等の大藥種商昨今の商勢より數百萬圓を獲ち得たる餘力を以て一擧壟斷的に其買占を爲したる爲め初めの目的は空しく失敗に歸せしが今回は重なる民間の病院に對し分配的に申込を爲さしめ第二回の賣下を行ふべしと

◎連絡船新造決定

關釜連絡船たる壹岐、對馬の兩船は僅か千三百噸内外の小型にして風浪激しき時は航海を往々中止する事ありて不便尠なからざるより今回鐵道院にては新羅丸級の連絡船二隻を新造して之れに充つべく内定して既に設計を了せりと(釜山)

◎林務主任會同(第一日)

各道及び營林廠林務主任會同第一日は二十八日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、各林務主任は勿論、總督府よりは寺内總督以下關係各部局長官、課長等出席し石塚長官統裁の下に日程に入り午前午後に亙りて情況報告ありたる後午後三時散會したり

大邱の人物(三)

入澤第一部長

雲生

『若しも兵營設置の事が豫定通りに行かないで來年度から工事が始められない樣な事にでもなれば私は辭表を出します。其れ程に私は覺悟してるのです。乾度此仕事は成就させて見せます……』と語る第一部長の瀟洒として貴公子然たる眉宇の間には牢乎たる決心の色が浮んでる。臺灣、關東州を經て朝鮮に來り殖民地通を以て人も許し自らも任じた好箇の若手地方行政官、其れでゐて『巴里の古風呂、巴里シヤンゼリゼーの夜の匣は到底も日本では味はへない獨特のものがある。騎駝に乘つてカイロに行き偉大なるピラミツドと人面獅身を訪ふた時、面白いのはポートサイドの名物で……』と數年前の歐洲漫遊談が始まると醉狡して熱を帶びた顔付が宛として『宗之瀟灑美少年擧觴白眼望青天皎如玉樹臨風前』の人物が興に乘じて語り出した樣でひさごの女中が只管に感に耐へる。慶南では大正二年釜山での共進會に努力し其翌年には大邱で慶北の物産共進會をやり昨年は京城に鄕勢館中衆目を聳ふの設備をやつてのけ、東拓からの水道借入れ、女學校建設を美事に成就し今や職を賭す程の熱心を以て兵營設置の事に奔走してゐる。慶北道民も亦幸なる哉だ。

◎建設事務所長召集

鐵道局に於ては來る三月七日より約一週間に亙り大正五年度施行工事計畫其他打合の爲め各建設事務所長を同局に召集し事務所長會議を開催す可し

◎軍司令官歸任

駐劄軍司令官井口陸軍中將は南鮮部隊檢閲の處廿七日午後二時五分龍山着列車にて歸任せり

◎立花警務總長

立花警務總長は太田大尉を隨へ廿八日午前八時卅分南大門發湖南線裡里へ赴けり往復約十日間の豫定にて全羅南北道の管内檢閲を爲す可しと

◎豐邊騎兵監來去

騎兵監陸軍中將豐邊新作氏は騎兵監部員騎兵中佐小畑豐之助氏を隨へ廿七日午後九時南大門著入京、總督府より差廻しの馬車にて朝鮮ホテルに入り一泊、廿八日午前九時二十分發元山へ向ひたるが羅南駐劄の騎兵聯隊を檢閲の上十四日頃歸京、龍山駐劄の騎兵中隊を檢閲の豫定なり

◎小城技師轉地療養 鐵道局監督課長技師小城齊氏は過般來總督府醫院に入院治療中の處病氣快癒せしを以て療養の爲め別府溫泉に轉地することとなり二十九日午前八時四十二分龍山發列車にて出發せり

仁川

▲仁川經濟會

既報の通り同會にては二十六日午後六時より仁川俱樂部樓上に於て總會を開催し來會者三十名立食の宴を徹して後豐永博士の朝鮮に於ける製造工業に關する有益なる學術的講話あり終つて與田貞次郎氏の船渠問題に關する經過報告及び森會長より本會の事務を商業會議所に引移す件に就ての協議ありて可決し午後九時盛會裡に解散せり

▲山口縣人會 同會は春期總會を二十六日午後六時より八阪樓に於て開催せり

□羅南より

孤村生

旅は道伴れとやら、今回の行龍山の飯塚少佐と同行、公私共に多大の便宜を得たり、廿二日京城より再び羅南に引返したる記者は、同地に於て羅南倉庫長常川少佐の好意に依り、經理部の上長官々舍に一夜の宿を求め得たり、普通ならば宿に着いて先づ一休みと云ふ所を新聞記者と爲つたは幸か不幸か夜中ながら騷も却々油斷はならず、旅裝もそこ／＼に又もや夜中二尺の積雪を蹴つて、玉置野砲兵聯隊を官舍に訪ひ、例のペチカの前で北鮮の兵營生活を語ること數時、夜半宿に引上げ、明日の國境行を樂しみつゝ午前三時寢に就く、記者此宵の夢や果して如何に(二十三日)

平壤

▲郡の勸業計畫

平南道勸業計畫の脱稿期中なる事は既報の如きが右決定と共に各郡は道の勸業大方針に準據し各管内の狀勢により道の施設と相呼應すべき勸業計畫を新定する由

▲高普の談話會

二十六日午後二時より平壤高等普通學校大講堂に於て同校學生の談話會を開會したるが種類に頗る變化あり例へば暗誦、石炭物語、會話、保險勸誘店員雇入、朗讀二宮翁の逸事論語の漢文鮮譯國語解等合計三十一番にて其の如何に同校生徒が國語に精通し亦發音の明確

春川

▲雪中長行軍

雪中長行軍の目的を以て去る本月十五日龍山を出發したる明石大尉の率ゆる騎兵將校五名下士以下二十五名の一隊は元山方面より山路を迂回し二十四日午後五時當地に著し宿營せり是より先春川官民は非常なる熱誠を以て歡迎の意を表せんとて守備隊憲兵警察在郷軍人其他官民愛國婦人會員及び公立普通學校の生徒は昭陽江渡舟場まで之を出迎へ市中は一般國旗を掲げて敬意を表す偖團隊よりは夫々慰問品を贈りて將卒の心を慰めたるに將校以下一同心からの歡迎を喜び翌朝六時三十分同日同處の見送りを受け駒の蹄勇ましく京城へ向つて出發せり因に同隊は龍山出發以來雪中幾多の險惡なる山道を踏破し強行軍を續行したるに一名の落伍者もなく人馬共に士氣旺盛なりしは好成績と聞ふべし

人事消息

▲若見侍從武官 二十七日夜京城へ
▲首藤藤市(旅團長) 同上
▲奧田二等主計正(朝鮮軍經理部) 同夜入京 山本旅館へ
▲海田飛行中尉 二十八日南大門發內地へ
▲前川一等主計 二十九日內地へ
▲金子生介氏(歯代醫士) 廿七日釜山經由歸京に北行

香南雪北

多年の懸案であつた癩療院は全南の押海島だとか麗水附近の一島嶼だとか大分問題になつて居たが▲漸く全羅南道の小鹿島と決定したらしい▲同島は木浦を北方に距る二十九浬周圍二三浬の小島である相な▲之れで先づ場所丈けは決定した譯だ▲兎に角本病院の建設は衛生上頗る必要な事で且つ該患者の爲めにも結構千萬な事である▲大邱の人氣は却々素晴らしいもので既に營林廠から建築材料五十車の製材を終つたとの通知があつたが▲全部の建築材料の中木材丈にて約百七十車に上ると云ふ▲輸送は愈々三月上旬を以て開始さるゝ相であるから益々景氣は良くなるだらう▲鴨綠江の氷が續々南鮮地方に移出されつゝある事は毎度既記の如くであるが▲今日迄の處先づ二十六噸貨車に百二十輛許り移出された相だ▲倘ほ夏を見越して三十五六貫目のもの約一萬個位は貯藏して置くと云ふからまあ氷は心配せんでも食へるかナア▲全北臨益水利組合では去る十六日益山郡八峰面の賭租徴收から大騷動を起したが▲其の結果組合側に無理ありとの噂があつて目下異相内容調査中である相な▲病床中の李全北道長官は其後聊か輕快に向ひたるも倘ほ全快迄には暫時の時日を要すれど▲最早危險界を脱したので萬々危篤に陷る樣な事はなからうとの事である

●闇に蠢く不思議の影

雨の夜、雪の日、雲門臺沖の怪異

舵が利かぬ　寒流に押されるのか　磁鐵鑛に吸はれるのか

地久丸の遭難した雲門臺端に就て不思議な話しがある、何んでも今から五年程前に大阪商船の一汽船恒春丸が此雲門臺端沖を航海して居る內に思ひも依らぬ艦に山が突出して居て遂に之れに

■衝突して沈沒 したさうであるが由來何十年何百年の昔から此邊を朝鮮人は雲門臺端と名命け即ち雲の如く見ゆる不思議の岬として航海の危險區域として居る丁度地久丸遭難の數日前 夜清津を發した大阪商船の臺北丸が雲門臺端を航海して居ると何にやら船の行手に雲の如く山の如き一固體が見ゆる少なくも地方から

■六海里は距て て航海して居るのであるからして道に老練な船長も何物であらうかと云ふ見當もつかぬ併し確かに 黒き影は機鑵の一轉每に近寄つて 來るからして船長は念のため熟練した一等運轉手を喚んで不思議の影の何者かを見さした所が大方雲でしようと云ふことであつたけれども船長は遭難船の多い時であるからして大事の上にも大事にと

■船首を沖合に 向けたと思ふ一刹那船尾のプロペラの回轉に生ずる大波は ざあ／＼と恐しき音を立て丶其附近の汀を洗つたそこで始めて最も地方近く危險區域を航海して居つたことが判つて各無事を祝したと云ふ

▼副官の質問　答は矢張り六哩沖

地久丸の遭難當時に於ては船が岩に衝突した時に乘客の一人であつた羅南駐剳軍の一副官が何浬位沖合を航海して居るかと船員に訊いた所が約六浬沖だと云ふからして到底小さなボートで避難しても駄目だと

▲死を覺悟して 居た然し重要書類を持つて甲板に出てボートに乘ると地久丸は非常汽笛を盛んに鳴した所が其汽笛の音が近い所の山に當つて山彥を起して居るからして六浬も沖で遭難した船ならば此樣に近く山彥が聞える譯はないと思つて居ると天の助か恰も前記の十何年前に此處で遭難した恒春丸を救助した朝鮮人の一老翁が居つて

▲其非常汽笛に 驚き又もや汽船の遭難かと跣足にも山上に大篝火を燃したため地久丸の遭難者初めて陸近きを知り大に力を得て漕ぎ寄せたと云ふことである

▼雲門臺燈臺

航海術の開けぬ昔からして此雲門臺は北沿岸の危險區域とせられて居るために遞信局でも燈臺を設けて附近航海の警戒をしてあるが其の雲門臺の燈臺には清津方面から南行して來ると舞水端と云ふ岬に隱れて燈臺の

◈火は見えない 最もずつと沖合を航行すれば見えないこともないけれども多少天候の惡い時になると浦鹽方面から來る寒流が舞水端の岬を目がけて突當る樣に流れるからして如何に沖合に向け航路を取つて居ても陸へ／＼と押流されるさうだ從つて地久丸が沖合六浬を航行して居るものと思つたのも強ち無理ではないそれで是非共此

◈舞水端に燈臺 を設くる必要があると思ふ尙ほ舞水端も雲門臺と同樣古來から朝鮮人の間に不思議なさうで北鮮唯一の難航路だとせられて居て水の舞ふ端即ち舞水端の名稱が起つたので丁度瀨戸內海の小鳴門の樣に潮の流れが激しいと云ふことだそして不思議なと云ふのは雨の降る夜とか雪の降る日などは此舞水端又は雲門臺沖を航海して居る船就中鐵船は

◈幾何舵を外舵 に取つて居ても山に／＼と引寄せられる或る航海業に經驗ある人の語る所によれば或は此邊に磁鐵鑛でもあつて羅針盤に狂ひを生じ航海業者が進路を過るのではあるまいかとも云つて居る併し磁鐵鑛の在る山の沖合などは日本の海軍省が何百萬圓と云ふ多額の金を掛けた

◈微細なる海圖 （地上に於ける軍用地圖と同樣）があつて若し磁鐵鑛などがあれば海圖の上に『此邊磁鐵のため磁石に狂を生ずることあり』と注意書がしてあるのであるが舞水端や雲門臺沖にはそれはない

▼幽靈の船室

日本郵船の立神丸船長岩本常雄氏の語る所に依れば、一體此二月又は八月は俗に二八月と云つて海上の不穩な時とせられ遭難が多いのであるけれども今年の樣に頻發することは稀である一說には海運界殷振のため航海技術者即ち船員の不足を告げ平素ならば隨分如何しい者でも傭入れて使用して居るから此頃の樣に事故が多いと云ふけれども寧ろ船員は剩つて居る位であるからして決してその樣な無責任無謀なことはする筈がない、併し別に御幣を擔ぐ譯ではないが不思議に遭難回數の多い船長が乘合した船に事故が多い友行とでも云ふのか現に地久丸などは幽靈の出る船室があると云はれて居た難波船の多くあつた所では溺死者の亡靈が出て附近を航行する難癖のついた船を遭難さすると云ふ物語も決して尠くない譯には行かぬ（立神丸船室にて面付生）

●乃木神社

三月上棟式擧行

神戸の村野山人翁が私財十餘萬圓を投じて乃木將軍の功績を永久に傳ふべく豫て伏見桃山明治天皇御陵の麓に建設中なる乃木神社は豫定の通り

▲工事進捗し 目下六分通り竣成したるが來る三月中旬頃上棟式を擧行すべく全部の落成は今秋十月下旬にて十一月には竣工式を擧げ同時に鎮座祭擧行の豫定なり建設中なる本殿は春日造にて屋根は檜皮葺となし地面より高さ十五尺の鐵筋コンクリートの臺上にて其の上に高さ四十尺間口十八尺七寸奧行二十一尺四寸向拜付となし拜殿は間口五間、奧行三間

▲屋根は臺灣 スレートを用ゐたり、また表の大門は四脚型、屋根は入母屋造り銅板葺にて間口十八尺、奧行十三尺、門の扉は臺灣阿里山産の檜にて長さ十二尺幅六尺三寸の一枚板なり、尚ほ境內なる繪馬堂と記念館は日露の戰役に於ける軍用倉庫を其のまゝに移したるものにて無數の彈痕歷然たり記念館は攻圍軍司令部にて柳樹房にありし支那人閻運洪の居宅を

▲其まゝ移し たるものにて間口九間奧行二間半あり神社の總坪數は二千八百坪にて費用は最初は十萬圓の豫算なりしも物價の騰貴其他の事情に依り數萬圓追加すべしと（大阪支局）

●美術界の紛擾

美術界又復紛擾を惹起し高島北海氏は文展審査委員を辭せり（東京電報）

●爆彈事件

擴大すべき模樣

大隈首相に對する爆彈事件に關し下谷區稻荷町東亞女學校長田中舍身及び赤坂區田町肥田卓司の兩人は二十五日午前十一時より東京地方裁判所に召喚され長時間取調べの末午後八時に至り豫審判事の令狀を以て東京監獄に收監されたり該事件に關しては尙ほ有力なる

▲關係者ある見込 にて檢擧の範圍は取調の進行と共に擴大すべき模樣あり田中、肥田兩人の收監は數日前入監中の爆彈犯人福田和五郎、下村馬太郎等を取調べたる結果にして何れも爆彈の下手人たる下村等を敎唆したる形跡あり殊に田中舍身は常に福田と行動を共にし陰謀決行に至るまでには下手人の人選等に參與せりとの說あり犯人たる福田は同郡の關係ありて常に同人を自宅に呼び寄せ時局問題に就し同人等を

▲使嗾ぜるの傾向 ありたり又肥田は立憲青年黨なるものを組織し下手人たる下村は同人宅に寄食して居たる事あり何れにしても肥田の意見として同人が何れも敎唆者として目されたる福田等の檢擧されたる當時其筋の嚴重なる取調を受けたるも證據不充分にて一時放還されたるが今回檢事局に於ても更に有力なる證據を得たる上遂に收監の運びに至りしなりと

●朝鮮人同志門

司で喧嘩す

門司市幸町七丁目矢野某方に在る仲仕朝鮮慶尚北道醴泉郡豐穰面洞里三統三戶洪某二明洪汲航（三）は同家滯在の明鏡金錦北道郡山生れ中

島榮太郎張金昌（ヨ）と去る廿日小森江に兵器廠が有ると云ひ無いと云ふ悶にもつかぬ口論の末金は洪の頰邊をポカリと二つ喰らはしたるより洪は腹が立つて堪らず翌午前一時頃密つと臥床を忍び出て二階に休み居る金の蒲團の上に馬乘となり携へ來りし薪割の斧を一ト打ち喰はせしが狂に足許を掠めたる許りに金は驚き起上りて矢庭に振上し斧を採ぎ取らんとせるを洪は得たりと金が右の頭部に深さ八分切口一寸餘の傷を負はせたる上逃亡したるを門司警察の手に捕へられたり（門司特信）

●馬、大なるを以て尊しとせず

歐洲戰と軍馬＝馬匹の改良＝騎兵の能力

陸軍騎兵監豐邊中將京釜線車中談

未曾有の大戰爭ではあり既に一年半も繼續せられてゐる事とて軍事上各方面共いろんな經驗はされてゐるであらうが各國共

▼軍事上の 機密は嚴重に漏洩を戒めてもゐるし觀戰武官からも囿く通信を止められてゐる爲めに概して戰爭の事は詳しくは解らないと云ふのが事實であらう何しろ恁う戰線が廣まり戰爭が大きくなつて見ると軍器、軍需品共に充分に供給する事が出來ない隨つて常に各戰線に於て斷えず

▼活動を續 けて行くと云ふ事が出來なくなつて來る露獨國境戰が小止みに成ると白佛戰場で動き出す白佛戰場が少し靜まると巴爾幹戰が活躍する、と云ふ形である現在に於て獨軍の主力は矢張り白佛方面にあるのであらう最近に於て獨軍が頻りに佛國ヴヱルダン方面で攻勢に出てゐるらしいが彼れは主力の活動であるかも知れない然し

▼飛行機の 利用が現今の程度迄に進んだ文明の戰爭に於ては敵に知らさずに大軍の移動を爲し以て不意に敵の虛を衝き奇勝を博しようなど丶云ふ事は昔程華々しく出來なくなつて來てる敵が大兵を移して衝かうとすれば偵察飛行機の報告に隨つて味方も之に備へる事に成る然も又現今白佛方面を初めとして

▼塹壕戰の 多く行はれる際に於ては喚び普通の野戰とも違つた結果となる何にしろ文明の戰爭に於ては共に精銳極まる武器を擁してゐる事だから其優劣を以て敵を壓倒一氣に殲滅せしめると云ふ樣な事も難い兵の多寡に依り其用法の巧拙に依り指揮者の優劣に依り樣々の結果となつて來るが然し根本に於ては矢張り

▼兵の敎育 如何に歸して來る最もよく訓練せられた兵士が矢張り戰場に於て最も味方を優利ならしめる印度兵、アルゼリア土民兵は成程凶猛には違ひないが訓練した獨逸の精銳は或は尙一步優位にあるかも知れない嘗て古蘭克騎兵の勇名が世界に轟いてゐたのは其

▼練馬の巧 みな事が重大な意味を爲してゐた古蘭克は當時或る區域の領土を貰つて政府とは別個の自治を形成し一團の首領が租稅徵收から法律制裁、行政々治の如き事迄總てをして居て其部落の居住者は各自々身に馬匹を所有し十五六歲の少壯時から常に愛馬に跨つて山野を驅涉し苦しい訓練を爲し又馬術を練磨して居つた　そして一朝事ある時は戰場に臨つたものだ其樣な生活が

▼古蘭克に 行はれてゐた時には古蘭克騎兵は世界に名實共に強大を誇つた然し其後に及んで制度が改められ今では古蘭克の騎兵も一定の訓練を受ける爲めにペトログラードの學校へ入校し而して他地方からの者と同樣訓練せられてゐるから其特兆とも云ふべきものが無くなつた觀がある即ち古蘭克騎兵の驍名の立つた所以は騎者が

▼騎馬に馴 れ騎馬亦騎者を知つて兩々一體となつて縱橫したからである其稱古蘭克の馬と謂つて別に世界的に名馬でも無い現今に於て世界一の名馬と謂へば矢張り英國でアラブ改良種とでも稱すべきものだ三歲の兒童も馬と言へば阿刺比亞馬の名を記憶するが元來阿刺比亞馬は決して體格は大きくない寧ろ夫れが缺點を爲してゐる位だ然し大佳門上に性質がおとなしいとか性格が善りよいとか

▼遺傳的に 良質を持つてゐるので愛用せられ其の種が英國に渡つて今日の名馬を造り出した譯であるに良馬で名あるは伊太利で第三は獨米アルゼンチンであるアルゼンチンは世界第一の牧畜國で伊太利などはアルゼンチンから種馬を購入して來たものだ最近に於ても一頭の

▼六十萬圓 に購はれて行つたアルゼンチン種馬がある日本の軍馬は今まだ誇稱すべきものが無い英米獨佛始んど各國の種が入つて而も其混血がまだ固まつて居ない外見は體格も大きいし非常にいいがまだ未成品である行々は充分に改良される事と思ふ——兎に角此の大戰爭終熄の上は總ての方面に於て多少宛の改良はされるであらうけれども

▼今の處は 騎兵としても取立て丶言ふ程の事もない唯各方面共除り要塞戰、塹壕戰が多いので騎兵は其本領を捨て丶下馬して步兵の任に隨はねばならない樣にさへ成つてゐるのは氣の毒もないでもない

馬賊の群より

六　村長の姪

吳統領千山攻擊　頭目劉秀の戰死

遠く幽かに笛の音

[illegible]

水に馴れた巡警等

有つた。折から上流の方から三艘の朝鮮型の漁船が櫓の音忙しく漕いで來たと思ふと、忽ち馬賊の一群を載せた克戎を取り圍んだ、之れ江上巡警隊が賊團の船に乘つたのを認めて來たのだ

は忽ち克戎に網を付けて岸の方へ引き始めた。鮑は捕へられるを首は無いと極まつて居るので儘よと身を躍らして江中へ飛び込んだ。彼は餘り水練の達人では無かつたが復州に生れて子供の時は折々海に出て遊んだ事も有るので、力限りに根かぎりに泳いで居る間に

漸く朝鮮の岸に泳 ぎ付いたが、冬に近い鴨綠江附近は寒さも強かつたので、彼は可成に[illegible]岸に蹄まつた儘、暫くして氣のついた時彼は野原の焚火の傍で支那人の百姓の親子に介抱されて居つた。それから彼は姿を變へて江を渡り一度遼陽に出でそれから又引返して

奉天の南方の千山 の山寨に入つて馬賊の頭目蓋世司天劉秀の部下に屬して、其の部隊長に成つた。彼は之の時から本物の馬賊に成つた、此れから後彼は大孤山花園口大平河口等を又は莊河廳など東方面の其の活動區域と定められて此の間に於て

の莊河廳の監獄を襲つて七十人の囚徒を放ち、其の中から二十人の部下を作り、歸りがけに諸所の豪商や錢莊を襲つて馬蹄銀七十袋と洋銀を奪つて來た事で有つた。其の功に依つて彼は直ちに副目頭の列に加へられた。彼が副頭目に擧げられて五日ばかり經つと、奉天中路巡防隊から

一番大仕事を爲た

吳頭領が兵二千を 率ゐて急に千山を攻擊した。山上は僅かの事で散々に敗北して、數年來の山寨は一朝にして焼かれ、大頭目の劉秀は戰死して終つた。鮑は自成と云ふ腹心の部下で馬鹿に力の強い男に小銃十挺と、刀劍四五口を背負せ、自分も

彈丸を持てるだけ 持つて、千山の裏口から岩の中を這ひ下りて、辛じて虎口を脫し、それから山の中ばかり歩いて、平頂山の降天雷王と一緒に成る考へで來て見ると、此の時既に雷王は鳳凰城の巡防隊に追はれた後で有つたから、仕方無く賴む木陰に雨の漏る心持ちで柳老人の家に隱れて居つた。其間に彼は

柳老人の女房の姪 と結婚し其の後援で平頂山の山寨の主になる事となつた。何處までも馬賊でなければ通れぬ男である、此處までは鮑が島田に物語つた其の半生の身上話である。

●朝鮮婦人一人のことから

去る十八日午後五時間島總領事館在[illegible]人巡查補を見て寺在住の鮮民が[illegible]すべき所にあらし去らんとせし[illegible]佛巡查補を打倒し件の鮮婦人を拉致せんとする所へ某日本人通りかゝり支那巡警の惡狀を見かね鮮婦を遮らじと抱き止め鬼の沸する間急報により[illegible]以て阻止妨害を加へ一鮮婦を取調ぶるにも尙且つ斯の如く騷擾を演せざれば止まざる有樣にて事每に間島問題の解決を促しつゝあり

百萬圓を投じ大阪市西區市岡町の住友私立職工[illegible]成所を設立すべく工事は三月[illegible]成し四月一日より授業開始の[illegible]が第一回の入學生徒[illegible]所長は日本に於ける模範職工學校の稱ある廣島職工養成所長の形作吉氏なりと（大阪支局）

●連絡船沿止差安

山中繁次郎、曾橋くら、原田茂太郎[illegible]高原軍、藤縄夫順、十河布子、中川幸三郎[illegible]千代吉、山本小糸、佐久間[illegible]田中[illegible]き、大橋宮、芦田隆太郎、佐藤正郎、油田武次郎[illegible]同英代子、同恭、天野雄之[illegible]正平、同和五世三[illegible]弘濟丸。

曇但小雨雪

二月廿九日

▲京城測候所 [illegible]

謹告

一金壹千圓也

右は故倉地いち儀蓬萊生命保險相互會社と契約致居候處今般死去致候に付頭書の金額同社光州代理店宮崎榮喜氏を經て受領致候間此段契約者各位に謹告仕候也

大正五年二月十五日

光州公立農學校

保險金受取人　倉地惣五郎

池田季雄

イケダ小兒病內科醫院

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院）一二三四番（自宅）八八〇番

明治大學學生募集

◎法科大學豫科　◎政治科大學豫科　◎商科大學豫科　◎經濟科大學豫科

大學豫科は各科大學に入る準備門なり◎第一學期授業來る四月八日開始者は無試驗入學其他は四月一日試驗の上◎中學及び同程度の學校卒業貳錢郵券添付申込の事　東京駿河臺　別科へ入學を許す◎學則は　明治大學學務課

明治高等豫備校　高等學校、高等工業學校、專門學校、受驗入學者の爲め特別なる準備敎育を施す◎新學期來る四月六日開始可成始業前日迄に申出でらるべし▲又高等學校敎授の編纂に係る高等豫備校講義錄前年度分は來る三月完結に付志望者は至急申込まれたし學則は貳錢郵券添付申込の事　明治大學內　高等豫備校學務課

月刊雜誌　養鷄と園藝　第參卷第貳號發行

壹部郵稅共金拾貳錢　半ケ年分郵稅共金六拾錢　壹ケ年分郵稅共金壹圓拾錢

大阪市東區味原町一〇二　養鷄園藝社　振替口座大阪二五七三一　電話南三二四〇番

第壹回株金拂込廣告

一、拂込金壹株ニ付金拾貳圓五拾錢（證據金貳圓五拾錢併算）

一、拂込期日大正五年三月拾日限リ

一、拂込取扱所（東京）朝鮮銀行東京支店　安田銀行　帝國商業銀行　三十銀行　中央商業銀行　（大阪）百三十銀行　帝國商業銀行大阪支店　（福岡）百三十銀行博多支店　（京城）朝鮮銀行　百三十銀行京城支店　（釜山）朝鮮銀行釜山出張所　百三十銀行釜山支店

大正五年二月

朝鮮輕便鐵道株式會社

創立委員長　牟田口元學

大邱市民の歡喜（四）
愈々旅團設置期成會の組織

大邱旅團設置期成會の第一回集會は師團設置案の議會を通過した五日後の昨年六月六日であつた。席上種々協議を凝し結局委員を選み著々運動に着手する事になつた其時の委員の顔觸れは

▲會長商業會議所副會頭中江五郎平▲副會長界萬次郎▲幹事木村竹太郎、崎原庄吉、伊藤吉三郎、小野元太郎、渡邊會議所書記長▲評議員百十六名

大擧して運動がましく騷勢を張るは不得策だからと云ふので時の岩瀨商業會議所會頭小倉大邱電氣株式會社々長兩氏を推して陳情請願委員に選み入京總督に懇願する處あり更に小倉氏東上、中江副會頭も上京諸方面に運動もした其頃偶々滿鮮旅行中であつた

參謀本部第一部長

尾野少將が京城に來たので竹崎府尹入京の序を以て面語した其時の尾野少將の話では『大邱の位置が餘りに

南方に偏

してゐるから國防上如何かと思はれる』と云ふ樣な甚だ悲觀的のものであつた然し飽く迄初志貫徹を期した幹部は更に尾野少將の歸東を大邱驛頭に擁して懇願を重ねた其月末には上京中の小倉、中江兩委員歸邱したが小倉氏は翌七月二日復引返して東上する事となつた

其程に事態は切迫

してゐた譯である而し其爲めにと云つて何も急激に福音があつた譯ではなく纔に『旅團と云つては難しいが聯隊位ならば或は置かれる樣に成るかも知れない』と云ふ位の話が某方面から洩れて來たのも八月六日の事であつた然し黎明を告ぐる一閃の曙光を認め得た市民に對して吉報は相踵いで來り訪れた駐剳軍經理部から出頭を命ぜられたりして漸く具體的問答を始める樣になり出したが其時から既に

聯隊設置が目的と

なつてゐた愈々の決定を見る迄には湯淺陸軍省經理局建築課長井出駐剳軍經理部長の實地踏査も行はれた初め期成會の幹部は西南市外適宜の位置に

廿萬坪の土地を選

んで之を購入寄附する爲めには約三萬圓もあれば、と大略の見當をつけた然るに經理局建築課長其他の當局者が實地踏査の結果、期成會幹部の選んだ位置は捨て、夫れよりもズツト東寄りの現在の位置を選定するに至つた現在敷地は

大邱市の略東南方

に位置し達城郡壽城面風徳洞、大明洞及び大邱府南山町に跨り兵營、病院（約四萬八千坪）將校官舍（約二萬坪）練兵場、射的場、軍用墓地（約十三萬坪）の三箇所に區分せられ總計廿萬坪に及び其見積價格約四

萬四千圓に達する。

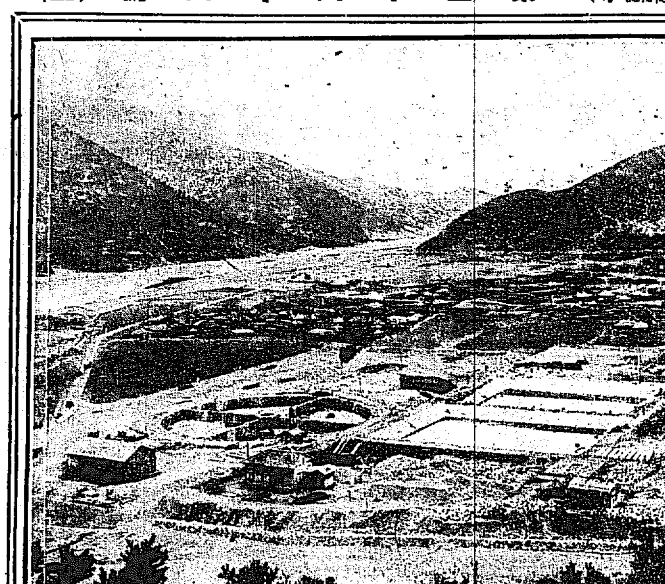
即ち初めの豫定よりは一萬四千圓を超過して來た譯である然し一度決せられた隊金が假令幾倍額したとても否む事ではない即ち四萬四千圓を募集せんには先づ六萬圓を集めに懸つて然るべしと云ふ豫算を立てた最初の

豫定より丁度倍加

する事になつた譯である其れをしも市民は何の異議も言はず快く提供する積りであつた然し大邱市の經濟狀態としては聊か重きに過ぎる負擔であるとの聲も有て軍當局へ交渉の末大邱市民の醵金は三萬圓でいゝ事になつたと云ふのは現に臨時派遣隊敷地中新兵營設置の曉不用に屬するものが大略六千餘坪ある此の處分を期成會に委ぬる事として不足を補ふ事になつたのである即ち大邱市民の負擔は

全部三萬圓でいゝ

事に爲つたのだが尚且大正五年度に施設すべきは兵營、病院、將校宿舍丈けであるから其れに要すべき七萬坪に近い二箇所の土地が大正四年度末日迄に交付せらるればいいと云ふ意向が達せられた即ち本年三月末日迄に正確に入手交付する必要の金額は約二萬五千圓で事足ると云ふ事に爲つた譯である


大邱水道

金銀牌　本舗大阪三宅堂　本椿香油
髮を黒く長くつやを出さらく　として髮のわけ止めく

◉燒酎密造者罰金　平安南道安州郡新安州面松鶴里七統九戶金官赫は酒造免許を受けず昨年十一月及び本年一月の兩度に合計一石二斗餘の燒酎を密釀し居たる事を同郡稅務官吏に發見せられ酒稅法違反として告發せられ罰金四圓に處せらる

◉李警部逝去　京城本町署勤務警部李冕根氏（三九）は本月十六日發病猩紅熱と判明し十九日より總督府醫院に入院加療中の處二十六日午前十一時遂に死去せり

▲暴風警報（二月二十八日午前十時仁川觀測所發）警文　風強かる可し。低氣壓の位置、黃海中部。低氣壓の示度、七六二粍。進行方向、北東。警戒區域、南部及中部

▲鯉の油揚げのあんかけ○○○○○○○
鮮らしき鯉の頭を去り腸も去り水洗ひして輪切りとして丼の如き器に入れ、醬油を注ぎかけ其まゝ捲き、別に鍋にラードを入れて火にかけ煙の立つ位まで煮立ちたる時、其中へ醬油にひたしたる鯉の肉を入れ赤く色付く迄揚げて再び元の醬油の中にひたすか又は別の醬油を注ぎかけ、次に外の鍋にスープを入れて火にかけ、片栗粉を水溶きして加へ御前に鯉をひたしたる醬油を色付位にさしまぜ、小丼に前の魚を一切れづゝ盛り上より此汁をかけ茹で玉子を皮をむきこまかに切りたるものを其上よりふりかけて供す

商況

東京株式特電
受渡株數二十九萬千四百株代金二千七百〇一萬二千二十四圓一株に對する平均額九十二圓六十九錢八厘

東京債券現物特電
[illegible]

東京公債直取引電特
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報
◉砂糖市況不勢 [illegible]

◉乾海苔低落 [illegible]

◉鯡類の昨今　三割方下落　茲二割以上 [illegible]

元山鯡漁獲切　昨今四十五六圓　騰貴　浦鹽鯡廻着 [illegible]

◉肥料糠依然不昧 [illegible]

◉木炭依然軟調　依然軟味を脫せず　驛賣四十一二三錢 [illegible]

◉明太魚持合 [illegible]

◉佛具類好況 [illegible]

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

錢高十錢乃至十五錢　値は約二十五錢　方引返　最近の安 [illegible]

利　仲買店

京城雜穀
[illegible]

南大門の廻米
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

仁川期米
▲廿八日前場　二兩十三圓七十　七錢の移　四錢と高移　三節八十 [illegible]

田中　[illegible]

市場零聞
▲前場動かず　强弱の腰入深き丈け手仕舞商內 [illegible]

▲前場の手振り [illegible]

▲當限納會す　三十錢上伸 [illegible]

▲當限受渡高 [illegible]

▲更に展開せず　後に於て一變動　高値買物薄　稍接近 [illegible]

仁川米豆取引所
廿八日の四月限　賣買取組高 [illegible]

北濱だより
▲紡績株 [illegible]

▲南滿新株 [illegible]

演藝案內

櫻井町　大正館　電話八七三 [illegible]

本町　壽館　電一〇五〇 [illegible]

黃金館　電話二六三七 [illegible]

明治町　浪花館 [illegible]

新龍山　佐久良座 [illegible]

御成町　御成座　電話二九一 [illegible]

朝夕二回・配達は迅速　大邱種苗場北　消毒全乳　花田牧場　牛乳券發賣　電話五五八番

ソーワル號　オウトル號　井上自轉車商會　本店釜山　大邱支店元町一丁目電話四二七　金泉、馬山、晉州

洋菓クリーム　キヤラメル　ポケット用大拾錢小五錢　家庭用一磅三拾五錢
木村屋製品の眞價は治く江湖の認知せらるゝところ今般大連滿鮮本店に於て英國式製法に依り製出したる本品は風味佳良滋養に富み眞に衛生的良菓に有之御試用の上是非舶來品との御比較を仰ぎ度候
京城明治町二丁目
パン元祖　木村屋支店　電話二八七〇番

種と苗
蔬菜、草花、山林用種子、果樹、山林、觀賞苗樹、球根花卉、和洋農具、各種肥料、驅除劑
春季說明附營業案內無代進呈
▲於本秋共進會銅牌を受領せしは唯本園あるのみ以て各種苗の如何に精良なるかは夙に各農家の均しく是認する所
京釜線烏致院　電話園二十七番　振替京城三七番　朝鮮興農園

自轉車と云へばミノヤ　ミノヤと云へば自轉車　京城　ミノヤ自轉車店　電話二三七三番

商標　京城東大門外安甘川　美濃屋味噌醬油釀造場　場主　森久七　電話一三二七番　振替三一九二番

內科小兒科　皮膚病花柳病　入院隨意　京城日出小學校前　多々見醫院　院主　醫學得業士　多々見五郎　電話九四〇番

醇良清酒　體裁優美　一打半打化粧箱詰

發賣元　大塚京城支店　京城南大門通二丁目　電話四〇一番振替五七〇番

資本金五百萬圓　頭取安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話長五八番　振替貯金京城一九四番一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　入院隨意　電話二六〇番

越後大評定

第百四十四席 早川貞水口演

瀧口三郎兵衛の出立

此とき金五郎はお鶴に向ひ 金『時にお鶴さん今踊り掛けに、江戸の友達に偶然會つた所、是は金さん好い所で御目に掛りました、他ぢやないがお前の兄さんが大病に掛つて、今日か明日かと云ふのだが、弟の金五郎に一目會ひてえ〳〵と云つて待ち焦れて居るもの丶、お前さんの居所が分らず、困つて居る所へ、白山御殿下の六さんが來て、お前の弟は越後の斯う云ふ所に居ると、兄貴の病人に話したもんだから尚ほ〳〵兄貴が懐かしがつて、今まで寄付けなかつた弟だが、若うか一目會ひてえと云つて、死に兼ねて居るから、迎ひに來たと斯う云ふんだ、其故マア一寸江戸へ歸つて來なけりやならねえが、就いちやお鶴さん、道中をするにや丸腰でも歩けねえ、時節柄物騒だから、用心のため脇差を一本差して往きてえが、親方の脇差があるなら、一本持つて來て貸てくれる譯に往くめえか 鶴『ナニ阿父つアんと阿母さんが、此間話してるのを密と聽て居ると、お前を私の亭主にすると云つて居たから、最う私は天下晴れてお前の女房、お前は私の亭主、して見れば阿父つアん阿母さんはお前の親だから、親の物は子の物、親が死んで了へば、皆お前の物だ、ア、阿父つアんは脇差が大變好きで、自家には七腰あるから、それを差して御往でな 金『辨慶ぢやあるめえし七腰さして行にも及ばねえが、一本長への

を貸しておくんなせえ 鶴『それでは此間道具屋の持つて來た、葵の紋の附いた道中差があるから、彼刀を持つて來て上げやう 金『何でも道中をするには、頑丈なので無くつちや不可ねえから丈夫で良さゝうな刀を一本持つて來て下さい 鶴『ア宜いとも お鶴は可愛い亭主に別れること故、好まぬことではあるが、兄の病氣とあるからは、是非もないことで御座いますから一本の脇差を持つて來て金五郎に渡し 鶴『金さん是で宜いかへ 金『アー大層良い脇差だ、其ぢや之を借りて行くとしよう 鶴『金さんお前路用の金を持つておいでな 金『イヤ路用は、仕事をした金を、十日目〳〵に親方から貰つて何にも使はずに溜めてあるから、金は要らねえ 鶴『でもあらうが、道中と云ふものはお金が少いと心細いと云ふから持つておいでなさい、何うせ阿父つアんの物は私の物、遠慮するには及ばない 金『イヤそんな事をしては困る、其ぢや斯うしよう、江戸へ往つて、若し急に戻つて來ることが出來なけりや、お前さんの所へ迎への者を寄越すから、其時は直ぐに出て來ておくなせえ 鶴『ア然うかへ、其ぢや其迎へに來る者が、何物か證據がないと、私も不安心だから、何物か私の大切な物を上げて置かう、ア此珊瑚の六分玉の簪、是は大層御金を出して大事にして居るのだが、お前に之を渡して置くから、其迎ひの者に持たして寄越しておくれ 金『イヤ簪なんぞ男が持つて居ちやをかしいから其様物を持つて往かねえでも、其時は委細を手紙に書いて、確な者を迎ひに寄越すから、安心して待つて居るが宜い 鶴『然うかへ、其ぢや成るたけ早く歸つて來ておくれ』

お聞きなさい

▲子を殺して投身●●●●●● 第二銀行横濱支店員水澤與市の妻きよ（四十）は四男吉雄（四ツ）が右足に故障ありて不具となり長女きみ（十七）が低能なのを平素苦にしてゐたが廿二日午後二時頃突然手拭で吉雄を絞殺しきよは萬代橋河岸から投身したが救けられた

▲香具師と不良少年●●●●● 京都二條大橋東三丁目増田長三郎（三七）は生きた蛇を食ふて見せ物にし金儲けする香具師だが十數名の不良少年を使嗾し自分が蛇を食ふて見物人から投錢を受けて居る間に件の不良少年をして見物人の袂を探らせてゐたことが發覺して逮捕された

▲女の少い臺灣●●● 四月開催の臺灣共進會で男四十五人、女百四十六人の看守を募集した處、男の申込は二百人もあり中には大尉や警部の古手や文學士法學士などがあるに、女は漸く七八十人しか應募者がなかつた、これで臺灣に浮浪人が多くて女の尠いことがわかる

▲新聞紙を焚物に●●●● アルプス地方の伊軍では燃料の不足に惱むので當事者は古新聞紙製の燃料を供給してゐるそれは少年少女隊が集めて古新聞を棒狀に巻き固め一寸位宛に切つて陣地へ送るので此燃料は僅か三四片でスープや珈琲を暖め得ると

三月一日九星 舊正月廿七日丁酉 本命四緑 暗剣 先負

▲四緑 不圖甘言に乗らんとす注意 [illegible]

金牌受領

一種獨特の芳香と風味を有する他に比類なし

さしみ漬物にかけて甘く煮物に用ひて徳用也

日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

食料品雜貨大安賣
今般移轉に際し從來より一層薄利多賣主義にて大勉強可仕候間多少に不拘御用命御註文の程願上候
食料品 果物 青物 海産物 問屋 御小賣 京城吉野町壹丁目 岩城馨商店 電話八四二番 振替一〇〇六番

學事委員採用
本校學事委員を採用す、月收參拾圓以上當外に手腕ある相當の人士を求む、規則見本至急前記通信中學校事務課

健胃散本舗 藥種 賣藥 山田藥局 藥劑師 山田重雄 大邱大和町 電話四五七

メカニズム 各種 テープ 大阪市北區堂島濱通 エスアイ商會

ソーダファウンテン 機械器具輸入販賣
米國シチユアート、アンド、ホルムス社製ソーダ水及各種の香氣芳烈なる美味清涼飲料水を井座に製造し顧客に供し得る外觀優美なる器具の販賣に係り…詳細は下名へ
東洋總代理店 ゼ、ホスピタル、サプライカムパニー

醇良清酒 名城 發賣元 今井商店 大邱東城町一丁目電話三四一

廣島名産 山まゆ織 新新品高橋光時商店 廣島市大手町

最上醤油 ◇ 始政五年紀念共進會銅牌受領
大邱東雲町 實城醸造場 電話二六二番

醇良清酒 和か松 若松商會酒造場 同 精米部 大邱東門町 電話二二番 振替一〇三七番

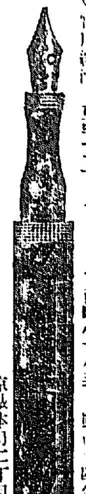
ライオン齒磨 値上謹告

拜啓 今や全歐洲を蔽ふの戰雲はいつ霽るべしとも見えず、世界の動搖、今日より甚しきはなしと存候。既に彼地の經濟社會を蹂躙したる戰時の狀態は、絶えず東洋に影響して敏感なる商界の調子を亂る事最も甚しく、我國市場に於ける一切の諸式は暴騰に暴騰を重ねて、已む時を知らざる勢に御座候。殊に齒磨主要の原料、薬品、並に香料、之に附屬する各種容器の原料、紙、インキ、印刷等、何一つとして値上と騰貴とを見ざるはなく、弊店謹製ライオン齒磨の受けし打撃も亦實に尠少ならず、到底從來の値段にては引き合ひ難き場合に臨み、既に値上實行を企て候事一再ならず、然も稿に江湖各位の御恩顧を慮みては容易に決行するに忍びず、遂延躊躇して今日に及び候處、近來大勢の押し寄する處、最早抑止すべくもあらず、此上に平時の値段を維持致候時には、遂に容量減少等の止むを得ざるに至るべく、斯くては御愛顧に酬ゆるの道にもあらずと、熟慮審思の結果、斷然値上の議を決定するの場合に相成申候。依て茲に愚衷を披瀝して、切に寛宏なる御推諒に愬へ、今日以後從前の値段より一割五分値上の事に決定致し、更に誠心誠意大方の御愛顧に酬ゆるため、一層品質の改善に努め申すべく、延て國民衞生、國家經濟の確實發展をも期したく、値上の事情と共に自ら默かざる告白を添へて、偏に深厚なる御同情を祈り奉り候。頓首

大正五年二月十二日

ライオン齒磨本舗 小林富次郎
東京市神田區柳原河岸
支舗 大阪市東區博勞町二丁目 名古屋市桑名町四丁目

安奉沿線五龍背驛を距る二丁
田園廣く山嶺崇しく溫泉に宜し
滿洲 五龍背溫泉
風光絶佳にして一大樂園地なり
諸病に特効ある理想的療養地なり
宿泊、下宿、自炊、各便の設備あり

目錄送呈
◎本製品は純然たる官用御指定の
覇王グラス萬年筆
米國パアレット會社製 最新インキ止式 眞正十四金ペン先付

◎諸官衙銀行會社其他團體にて御使用は特別割引仕候
朝鮮總代理店 京城本町二丁目（電話四五番） 振替京城二五六番 釘本藤次郎本店

國産奬勵 輸入防遏 海外輸出

當社製品が日本全土に六千萬と及印度南洋支那各地に九億との顧客を有するに至りしは蓋し國産發展の慶事なり

當社は使用原料を精撰して社會衞生の向上を計り所謂『安心して食べられる菓子』の製造を以て主眼とす

原料の一部たる牛乳使用量は大に國産業界の發展を促進せしむ

森永ミルクキヤラメル 大金十錢 ポケツト入小金五錢

煙草代用

牛乳百石 毎日の使用量

當會社特設の化學試驗部に於ては 藥學博士丹波敬三氏 藥學博士岡田春吉氏 兩顧問の選定せられたる專任技師數名を顧問指導の下に日日使用する原料を檢定し品質の統一を期す

東京 森永製菓株式會社 大阪

茶代は一切御斷り申候
慶北道廳御指定 櫻屋旅館 慶北尚州

新刊書御案內

書名	著者	定價
闘碁中の定石	鈴木爲次郎	五〇
淺草物語	久保田萬太郎	九五
短歌三百講	平野萬里子	一〇〇
はやり唄と小唄	湯淺櫻庭	八〇
詩集正義の兜	佐藤惣之助	六〇
山口金井スキー術	大日本新聞學會編	三五
御鮮名勝詩選	兒島淡山	一三〇
伝記通俗武勇譚 名將	盛文館發行	三〇
無駄なき生活	山脇房子	一〇〇
成語の話	大島庄之助	七五
人生の裏面	村上浪六	一〇〇
官立學校入學試驗問題作文模範答案集		四八
進化原論	谷津直秀	一五〇
雄辯美辭と筆	樋口龍峽	一二〇
姉と妹の手紙	小野與智子	四五
女の裏おもて	實塚有美	九五
名士の癖	服部耕村	四五
新生活の創始	佐野袈裟美	八五
日常生活の化學	富永斐	五〇
英雄風雲錄	石井樹紅編	五〇
民育要義	山崎延吉	五〇
エムデンの奮戰	宮澤寅男譯	七五
新譯碧巖錄	峰谷輝雄	一〇〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七三

金泉醴泉間 自動車發著時間表
上り 醴泉發 前八、三〇 / 一番 金泉著 ［後］
…
▲金泉 織居自動車支部 （架設中） 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 三河丸 三月廿一日 正午出帆
○大連太沽行 相模丸 三月三日 正午出帆
（同） 砂丸 三月十二日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 堀回漕部 電話十一番

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路（臺灣航路を除く）間連絡船航帆の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 宮島丸 三月九日 午後五時出帆
× 吉辰丸 三月五日
× 天智丸 三月十二日
○木浦、釜山、長崎行 ▲は展原輸西浦に寄港 安東丸 三月九日 午後二時出帆
▲ 城津丸 三月三日
鎭南浦、大連行 安東丸 三月五日 午後二時出帆
城津丸 三月十三日
△ チヨーサン丸 二月廿九日 正午
○芝罘、大連行 濟州丸 三月五日 正午出帆
福州丸 三月十日
群山、釜山、横濱行 潮州丸 三月二日 午後四時出帆
×△ 福州丸 三月十六日
○濟南、汕頭行（元山出帆） 須磨丸 三月六日 午後二時出帆
登北丸 三月十八日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 安平丸 三月十六日 午後四時出帆
新高丸 三月廿四日
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
▲對中國西國沿岸各港行旅客に對し當分門司迄一割引、神戸迄五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

京城日報　第三版
廿九日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 合資會社 京城日報社　京城太平通一丁目

京城日報　吉會線の速成（中）
富源開發を待てり

吉林松花江上流の木材は今日にては日本里數六十里以上の地に遡らざれば之を得る能はず。水に面する山腹よりは伐り出し得るも、背面のものは運搬に困難なるを以て伐り出すを得ず、且つ水に從ひ逆るが故に、水少きときは流下せず、洪水時には流失す。然るに吉會線の速成せば、其沿線の大森林より産出する良材大材の數量は無限に定時に運出し得らるべく、彼の水流に委するが如き不安なく、啻に良材大材のみならず、鑛山に使用する杭木の如きも自由に沿線より採取するを得べし。現に撫順炭坑にては一箇年に約三百萬本の坑木を使用し、其の價格の一小高低すらも炭價に至大の影響を及ぼし居り、填沙工事及露天掘の如きを奬勵し居るを見るも、如何に其の坑木に苦しむの反影を見るを得べし。其他經木眞田及び燐寸に用ふる白楊、又は燐寸軸木に用ふる椴木、銃臺に用ふる楸木、鐵道枕木用各種木材等其に無限にして、吉會沿線の大森林に入れば、枯葉滿地、厚さ四尺に達し、若し夫れ盛夏の際の如き、鬱葉陽光を鎖し、靜寂の冷氣人を襲ひ宛として太古の生活に入るの思あり、首を上ぐれば風聲樹頭を掠めて濤聲を聞くに似たりと謂ふ。森林の副産物として製紙原料パルプ、樹皮染料等極めて有望なり。

穀類木材に次ぎ其の地域の廣大にして殆ど無盡藏と想像せらるゝは石炭なり。吉會沿線附近各所に散在し、吉林府の對岸に於ては既に採掘し居るも、奈何せん運輸の便なきが爲に只狸掘りを爲し居るに過ぎず、故に吉會線の開通を見ば石炭の採掘は非常の勢を以て各所に着手せらるべく、營養線として輕便鐵道を自由に使用するに於ては、石炭は木材と同じく其量何百萬噸なるを知らざるべし。若し吾人の謂ふが如く、吉會線成り沿線の炭田が採掘せらるゝに至らば、滿鐵の撫順炭坑の如きは一大恐慌を來すならむ。蓋し一箇年二百五十萬噸の撫順石炭に對し、他の競爭炭が一噸一圓を競爭すとせば滿鐵の損失は直ちに二百五十萬圓に上るべく、是れ滿鐵が常に他の競爭炭の出現を憂慮し居る所以に年大倉組が獲得せし新邱炭坑等に對して今日も尚ほ滿鐵は憂慮に堪へざるものゝ如し。

其他鑛物として金銀銅等の産多く、就中他の南西各縣の如き、殆んど到る處に之を發見せざるなし、煙草も亦沿線に豊富なり、吉會線の開通を見ば其の産量大に增加すべく、藥材の如きも決して輕視するを許さゞるものあり。

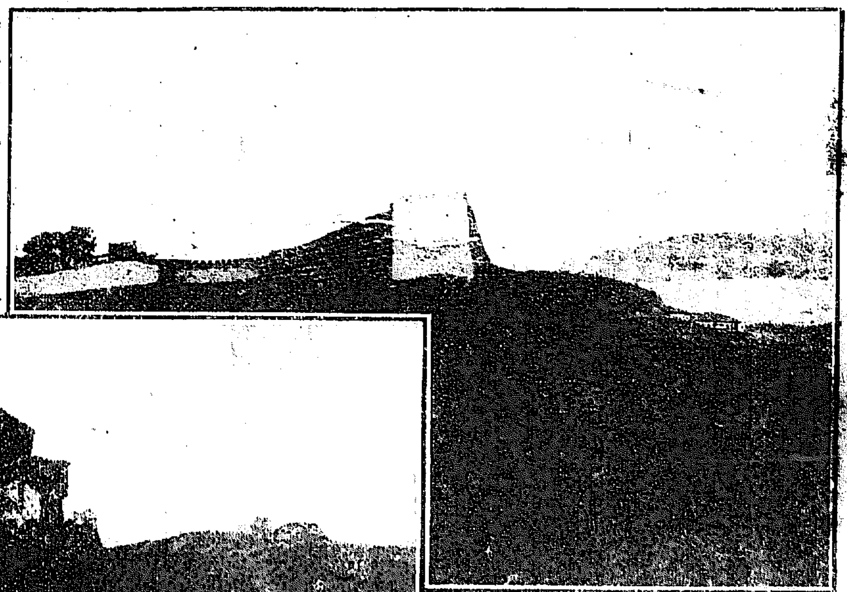
金融と企業
在京　一記者

▲我帝國政府、此度東洋拓殖會社案の外、日支滿洲銀行案も帝國議會に提出して、其協贊を求めたる結果は、本紙に詳記する所の如し、乃ち其事實は事實として此に吾人の見るところを云はゞ、我本土政治家中、往々にして對外經營の要義を解せざるものあるを、遺憾とせざる可からず。

▲我帝國政府の意、蓋し我金融機關を皇張し以て、滿洲蒙古支那一圓の經濟經營を發暢せんと欲するものなり、其精神は何人も大賛成を表するところなれども、尋常の金融機關即ち銀行としては、爲替取組手形割引預金取扱を以て主一業務と爲し、專ら商業金融を營むものたらざる可からず、且銀行として安全なる營業は自ら此に限らるべくして、農業投資工業鑛業投資の如きは、其業體の許さゞる所なり、然るに新領土植民地若くは外國の內地に入りて、拓殖を事とするものにありては、此尋常銀行の業務を以て滿足すべきにあらず、特に尋常銀行は既に其々存在するを以て、今日敢らに新たなる施設を求むるを要せざるなり。

▲然れども、新領土植民地若くは外國の內地に入りて、拓殖を事とする金融機關は、其任務が主として農業工業鑛業等に投資して、其資本を固定するもの多なるを以て、其業務は尋常銀行の如く安全且單純なる能ず、於是乎此種銀行は尋常金融業務の外に、一定の權能を有する所の特許會社ならざるべからず、往年露國が創設したる露清銀行の如き則ち其例なり、露清銀行の廣汎なる權能を有するを以てして、猶ほ且其營業上の困難を感じたるは、何人も能く知る所にして十分の根據を有し十分の素質を具ふるものにあらざれば、其任務を全くする能はざるは、東西古今の實例に依りて明白なる所なり、或は日支銀行資本二千萬圓滿洲銀行資本一千萬圓は、其資本額餘りに寡しと非難する者ありたれども、資本の多寡の如きは抑も末なり。

▲吾人、甞て我東洋拓殖會社を擴張して、滿洲蒙古金融及び其他の經營の事に從はしむべきことを切言せることあり、蓋し我日本の對外經營機關として、其端を起すものは同會社なり、其設立の本義拓殖事業を擔當するにあり、其根蔕の既に深く且固きあり、其を擴めて之に充つるは、則ち最も自然にして且最も便益なる言を待たざるなり、且拓殖的投資は其資本を固定せしめ、其運命を事業の成敗に託するを以て、投資者たるものゝ自ら其業體に對する智識能力を有せざるべからずして英佛植民地銀行が、埃及及アルゼリアに投資して引受け、其處置に困じ果てたりと云ふが如きは、尋常銀行組織たる諸國植民地銀行には有り勝ちの事たり、乃ち自ら農工業若くは鑛業を營むだけの能力を具有し少くとも、其を指揮監督するの意思能力あるものにして初めて其事に當るを得べく、是れ吾人が專ら東洋拓殖會社擴張を主張して已まざる所以なり。



重慶城——果して南軍の手に歸す可きか——

大阪より

△人肥輸出旺盛　歐洲戰亂以來濠洲、新西蘭方面は獨逸よりの人造肥料の輸入杜絶せしため、本邦に註文頻々來れる由にて濠洲より二十五日人造肥料大阪支店へ約三千噸の註文到來せしも船腹不足のため遺憾ながら引受けをなす能はず小口物なれば船腹を見計ひて百噸乃至二百噸づゝ日々五六口の積出をなしつゝあり而して運賃は戰亂前一噸二圓五十錢なりしに昨今几圓に暴騰せるにも拘らず先方には品拂底のため運賃の高價如何を問はず大抵の積出を希望し來れり

△蠶業肥料增資　日本蠶業肥料會社は愈々增資に決定したるが其の增資額は六百萬圓にして四月末日現在株主に舊一株に新株三株の割合を以て新株總數の三分の一をプレミアム附にて公募すと

△蔬菜免稅有望　浦鹽近信によれば沿海州選出議員にサノフ氏は日本諸蔬菜果實輸入課稅に關する浦鹽商業會議所の意見につき實地調査の結果今議會に免稅案を提出すべし此の問題は勿論沿海州各地を初めとして際路にも多大の關係あり漸次免稅說に傾き居れば議會に於て政府も之に反對するは困難なりと觀測しつゝあり

△外國米逆輸出　內地にある外國米にして昨年來米國へ向け逆輸出したるもの多く既にラスト商會の手を經たるもの約四萬袋は殆んど全部桑港へ向け輸出され尙ほ近く輸出すべく準備し居るが此外湯淺商店も昨年來同米を買收し輸出せしに成績良好にて註文續々あり既に輸出したるもの及び近日輸出すべきものを合して二千五百噸に上る由

△興正寺葬儀　東派興正寺派連枝華園興隆師の葬儀は二十五日午後二時本山に於て本願寺派執行せり同派には同師の遷化により一人の連枝もなく連枝號を失したる譯とか

△川村元帥渡臺　今回臺灣特命檢閱のため三月八日神戶出帆の香港丸にて渡臺すと（二十五日大阪支局電）

燈臺の話（九）
全北於靑島の燈臺守　G、O生

燈臺とは何んなものか

[illegible]

日本の燈臺
[illegible]

朝鮮海の濃霧多い處
[illegible]

朝鮮でも仁川沖、木浦沖
[illegible]

鎭南浦
[illegible]

仁川港
[illegible]

京日詩壇

○寄中田臓　小永井槐陰
村南村北雪紛紛。飄忽嚴風捲凍雲。[illegible]筆戰龍探猛虎。壯懷何讓老將軍。
評曰 筋脈整齊、方不枝蔓、
○同上　永井鳥石
[illegible]
評曰 景情適眞
○同上　高田小茶
[illegible]
評曰 所謂六轡在手馳驟自在之妙
○同上　成田鳥石
[illegible]
評曰 能新化陳意

■ヘチマ會句錄（二月二十五日第一會）

輪をえかく蘆の淵の水温む
植樹する大臣の鍬や春の山
貧る眞似の土の團子水温む
なくる汽車の窓美しゝ春の富士
川の藻に群る小鮒や水温む
琵琶の水加茂に入る日の長さ
花を摘む狂女の笑みや春の山
笑ふ山夕陽に染みて潮に映る
寺に詣れば貧者の燈や春の山
水温む桶に柳と桃の花
砂に漉す水のぬるみや旅の朝
岩に堰く水の白さや山笑ふ
雲に乘りて浮ぶが如し春の山
白帆遠く旗振る人や山笑ふ

井荒田一柳秋井其三書芳翠柳三臥
洋村孝步風江洋右瓢洲村溪風瓢牛

▲依然保合ふ
[illegible]

▲本日の現物界
[illegible]

寄付	十圓七十六錢
止め	十圓七十錢
高値	十圓七十六錢
安値	十圓七十錢
三月限	四萬二千六百五十石
四月限	五萬千五百石

預金利息改定廣告
一、定期預金　六ヶ月以上年利　五分
一、當座預金　日步　五厘
一、特別當座預金（小口當座）　日步　壹錢壹厘
右來ル三月一日ヨリ實施可致候也
大正五年二月廿八日
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行京城支店
株式會社十八銀行龍山出張所

眼科內科　小兒科　入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
本田醫院　院長 本田建義

婦人世界
□四秀才を出せる家庭（記者）
□源爲朝の子孫現存す
□熊谷直實の子孫現存す
□新井白石の子孫現存す
□都會へ來る志望の婦人に與ふ　新渡戶稻造
□封筒張の內職（當世內職調べ）
□虛禮虛飾ムダと見得の世の中を打破れ　早川鐵冶
家庭小說　龍卷（三）　渡邊霞亭
日本料理 支那料理 西洋料理　野菜料理　村井弦齋
小說　雪中梅　下田歌子
□牛乳の見分方と買ひ方
□發狂したる良人と幼兒を抱へて奮鬪せる感心な婦人あり
□歷史小說　みをつくし　長谷川時雨女史
□一家の經濟「むつき」の工夫
□三月の惣菜獻立　櫻田夫人、須藤夫人、山下夫人
□子供を小學校に入れる前後の注意　櫻井ちか子
三月號發行　東京京橋區南紺屋町　實業之日本社　振替東京三二六番
定價一冊十五錢　郵稅一錢　半年八十五錢　一年一圓五十錢

婦人世界編輯局編纂
家庭重寶記　最新刊　定價四十錢　郵稅六錢
△衣食住の事、冠婚葬祭の事、其他一家の主婦として必ず心得べき事項を網羅す
櫻井女塾長 櫻井ちか子先生著
三百品 今日の料理　定價五十錢　郵稅六錢
四六判美裝
四人前を標準とし一品一人前五錢以下で出來る、おいしい料理法を親切に詳しく材料說明の仕方總て斬新、決して他に類なき現代の家庭必須の料理法なり

小杉天外先生著
銀笛　上卷四版　下卷三版
上下各冊定價一圓三十錢　郵稅各八錢
毎度賣切れる大好評增刷出來
東京南紺屋町　實業之日本社出版部　振替口座東京三二六番

京日案內

普通（一回金三十錢（無割引）一回毎に金五錢增）

▲看護婦見習人用　婦人被雇度　年二十八歲性溫良裁縫の心得あり良家に仲働として被雇度確實なる保證人あり　姓名在社 536

▲永樂町二丁目　宮地醫院　本人來談の事 534

◉看護婦及見習募集　希望者履歷書携帶午前中來院　▲和田外科病院 533

事務員　年齡卅ヶ歲位官署に十數年勤續身元確實の者給料多少に不拘會社又は商店に被雇たし（姓名在社）532

外交員募集　京城長谷川町九十一　電二五三四　帝國公債信託株式會社朝鮮支部 525

◉讀店　漢陽公園目拔の場所に有望なる喫茶店讀店御望の向は左記へ　旭町一天野　電話二〇七〇番 522

◉勿見落　定價の三分一で新刊雜誌が其川に讀る廻讀會　松井松榮堂　▲京城本町一の四九電話一三七八 529

◉古本買入　▲御報參上　▲地方送金　京城本二　森田文光堂書店 363

◉福引大景品付代價表進呈　▲師苗　北海道札幌　札幌農科大學正門前 367

▲非賣　本町四丁目　百卅三番地　川上非賣 330

▲看護婦至急募集　希望の者は履歷書携帶午前中來談あれ　京城櫻井町　池上醫院 524

◉古本品拂底に付無比高價買入　御一報次第即刻參上　▲京城本町四　普光舎　電話二七八一番へ 315

番外（一回前金六十錢無割引　匿名一回每に金五錢增）

確實有望事業　資本僅少にて素人にて爲得最有望事業鮮滿地方倍々有望希望者往復端書市内込乞委細詳報　◉京城本町二丁目近江屋 535

ラムネ販賣人募集　希望者本人來談　市內確實の保證人要　京城岡崎町八番地　京城淸凉社 530

社員招聘　前給外務監督二名招聘す　希望者は自筆の履歷書携帶本人來談　▲京城黃金町二丁目一八一横濱生命保險株式會社朝鮮出張所 531

店員入用　希望の方は御來談あれ　時刻は成丈午後八時頃好都合　◉新龍山一電車終點一丁許手前　▲雜貨商　すぎ屋支店 526

春川　忠州　原州　牛車驛馬　貨物運搬　方面行取扱元　龍山▲京城北米倉町　西村商會出張所　運送部　▲電話二九〇二番 523

生ガキ特約販賣店　京城旭町二ノ一日（府廳東側）　牛蠣御問屋　三友商會　電話三三一六 521

質　京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）　堀佐營業所　電話六三九番 313

◉二月十五日より大安賣　○東京玩具…雛と人形外一切の玩具　地方は御注文次第送附す（寺前）　○京城本町二丁目　▲佐藤玩具店 373

質商　弊店は秘密を旨とし御客樣の便利を計り親切丁寧に　▲移轉廣告（元伊佐）　黃金町一丁目大正館北横丁櫻井町と櫻井町角南入る　東屋 382

住宅家貸向　京城吉野町一丁目の家賃月金武拾圓　衛中の新地方は旭町一丁目小森材木店又は吉野町一丁目　中野修造方へ 518

第三十七回帝國議會

貴族院（二十八日）

△最終本會議

貴族院の最終本會議は二十八日午前十時開議、諸般の報告後議長は議員富田鐵之助氏の死亡を報告し例に依り弔辭を贈りたしと諮り異議なく之を認めたり此の時岡田良平氏は昨日簡易保險法討議の際討論終結後國務大臣に發言を許したるは議院法第九十六條に違反せざるやと質したるに對し徳川議長は國務大臣の發言は何時たりとも許すべしとの第四十二條の規定を適用し何等違法に非ずと答へ岡田氏更に發言を求めたるも議長之を顧ず日程に入る細川調査委員長報告あり後

●商業會議所法中改正法律案　松浦厚伯委員會に於て修正可決せる旨を報告し報告通り可決

●理化學を研究する公益法人の國庫補助に關する法律案　正親町委員長の報告通り可決此の時議長は兩院協議會其の他重要委員會開會中なるを以て便宜上一旦休憩を宣し十一時五分休憩

衆議院（二十八日）

▲議事百卅九件

第三十七議會も愈々二十八日限りとなりぬ上程せられたる議事百三十九件の多きに達す午前十時三十分開會議院の報告終るや横田千之助氏（政友）議事進行に關し發言を求め余の提出したる軍用品賣却と泰平組に關する質問は其の趣旨説明後一週間を經過せり閉會間際に至り書面を以て答辯するは何事ぞ大隈伯は其の成立の當時幾多の成功を發表したるに拘はらず一も實行したるもの無し余の質問の要旨は與黨の選擧應援費を如何にして出したるかを聞かんとするにあり首相及び陸相は與黨の爲めにも出席答辯して天下の疑惑を解くが至當なりと掉尾の彈劾を試み次で日程に入る

●大正二年度歳入歳出總決算及び各特別會計歳入歳出決算　鹿島秀麿氏（同志）委員會にては國庫金を興業銀行に貸付けたる不當處置を決議し其の處分策に就きて附帶條件を決議せりと報告し戸井嘉作氏（同志）右不當處置は何の内閣にして大藏大臣は何人なるやと質し鹿島氏政友會内閣にして高橋是清男藏相時代なりと答へ紫安副參政官決算提出年度の件は租税納期にも關係あれば政府は反對なりと述べ鈴木萬次郎氏（同志）當時の政友會は前桂内閣の後始末を爲せるなりと戸井氏に一矢を酬ひ採決の結果委員長報告通り可決

●農事獎勵に關する建議案
●森右衛門氏（同志）の説明ありて即時可決
●航空事業國庫補助に關する建議案
●兒玉亮太郎氏（政友）の説明ありて即時可決
●水產調查會設置に關する建議案
●高木正年氏（公友）説明ありて即時可決
●京都高等蠶業學校に農業科併置に關する建議案
●川崎安之助氏（中正）の説明ありて即時可決
●產業組合に關する建議案
●小林嘉平次氏（中正）の説明ありて原案可決
●東北地方振興に關する建議案
●村松龜一郎氏（同志）の説明ありて原案可決
●富士川改修工事速成に關する建議案
●市川文藏氏（同志）の説明ありて即時可決
●岡山縣下宇野港を特別輸出港と爲すの建議案
●安東敏之氏（同志）の説明ありて即時可決
●產業金融機關設置に關する建議案
●鈴木久次郎氏（同志）の説明ありて即時可決
●漁業者救濟並に工場發展の調査機關設置に關する建議案
●鮮魚類販賣取締法制定に關する建議案
右二案を一括して安東敏之氏（同志）の説明ありて即時可決
●阿武隈川治水に關する建議案
●村松龜一郎氏（同志）の説明ありて即時可決
●長崎縣對馬國に自治制急施行に關する建議案
●浦瀬濟之氏（政友）の説明ありて即時可決
●戰時海員保護法制定に關する建議案
●福井三郎氏（同志）の説明ありて即時可決
●國產葡萄酒醸造保護獎勵に關する建議案
●川崎安之助氏（中正）の説明ありて即時可決此の外山口俊一氏（同志）の動議にて日程を變更し
●商業會議所法中改正法律案（貴族院提出）を議題とし坂口仁一郎氏（同志）賛成意見を述べ異議なく修正通り可決
●岐阜多治見間鐵道速成に關する建議案
●議案
●飛彈縱貫鐵道速成に關する建議案
右三案を一括して岡崎久次郎氏（同志）の報告通り可決
●東方調査局設置に關する建議案
●櫻井兵五郎氏（公友）の報告通り可決
●酒造税納期繰下げに關する建議案
●山宮藤吉氏（同志）の報告あり山口俊一氏（同志）の反對あり多數にて委員長報告を否決するに決す、此時政國兩黨より採決に就き異議ありと唱へ議長次の議事に移らんとするや原宇一郎氏（政友）川上榮太郎氏（政友）等議長席に迫りて不法採決を詰り議長既に採決後ならば異議申立は効力なしと答へたるも政國兩黨は容易に聞き入れず議場騒然の状に陷らんとせしより議長は暫時休憩を宣す時に十一時五十五分

▲簡易生命保險案

午後一時二十分再開、川上榮太郎氏（政友）議事進行に關し發言を求め休憩前の酒造税納期繰下に關する建議案に就き賛否を明瞭ならしむべしとの動議を提出し採決の結果少數にて否決

●蠶業振興に關する建議案
●小西和氏（中正）の報告通り可決、此時小久保喜七氏（政友）議事進行に就きて發言を求め發徳合違反に關する再質問に對する首相の答辯に對し更に答辯を求め置きたるに閉會の今日に至り出席なきは不都合なりと非難して降壇す又議長

簡易生命保險法案に對する兩院協議會の議事終了したりと告げ協議會議長片岡直温氏（同志）を麾く片岡氏登壇、協議會は本日午前九時開會議事進行上懇談會と爲し互に意見の交換を爲し大體の意見を纏めたる上午後零時三十分再開正式に會議し大西五一郎氏（中正）同法案第三條中の『資格』の二字を削除する意見を出だし無記名投票にて採決の結果十三對六にて大西説成立したれば削除するに決し其の他は貴族院の修正通り可決せりと報告し高野金重氏（中正）最高保險額を二百五十圓と改むる爲め國庫補助金は十二萬八千圓にて足るやと質し片岡直温氏國庫の負擔は增加すべきも經營方法に依り不足を生せざるべしと答へ武富藏相兩院を通過せば相當の方法を講じ成る可く被保險者の不利益とならざる樣計畫すべしと答へ小川平吉氏（政友）本案に對する兩院の意見は三樣なり以て如何に本案の不完全なるやを知るべし我等は舊日の主張に基き片岡氏の報告に反對すと述べ大西五一郎氏（中正）本案は兩院に於て通過を希望せるを以て協議會を明きたるなりと小川氏の説を反駁して片岡氏の報告に贊成し採決の結果多數にて片岡氏の報告通り可決

●八代川内間鐵道速成に關する建議案
●山田珠一氏（同志）の報告通り可決
●金玉均表彰に關する建議案
●渡邊藤太郎氏（公友）の報告通り可決
●上越鐵道速成に關する建議案
●信越鐵道河東鐵道速成に關する建議案
●上越鐵道建設に關する建議案
右三案を一括して須藤嘉吉氏（同志）の報告通り可決
●南太平洋航路開始に關する建議案
●森田小六郎氏（中正）の報告通り可決
●神通川改修工事速成に關する建議案
●關[illegible]市松氏（同志）の報告通り可決
●外國米輸入税に關する建議案
●川島[illegible]助氏（中正）の報告あり加賀卯之吉氏（同志）延期の意味を以て反對を述べ採決の結果否決
●安房鐵道速成に關する建議案
●加瀬禧逸氏（中正）の報告通り可決
●音樂教育に關する建議案
●森丘覺平氏（同志）の報告ありて可決
●畜產事業國庫補助に關する建議案
●新貝貞三郎氏（同志）の報告通り可決
●田畑地價修正に關する建議案
●有田温三氏（中正）の報告通り可決
●三國港護岸施行に關する建議案
●宮木彌次郎氏（同志）の報告あり藤澤參政官政府は本案に同意し難しと反對し名村忠治氏（政友）の原案贊成あり採決の結果否決
●植民省建設に關する建議案
●小西和氏（中正）の報告あり横田千之助氏（政友）政府の所見如何と質し高橋法制局長官政府は植民省設置の議熟し居らずと反對し古谷久綱氏（政友）の反對櫻井兵五郎氏（公友）の贊成あり伊東知也氏（國民）植民政策の統一無き爲め滿洲其他に於て糾紛あり不都合なりと原案に贊成し採決の結果否決
●北海道拓殖速成に關する建議案
●初見八郎氏（同志）の報告ありて可決
●東北六縣國有林野下戻處分に關する建議案
●高松正作氏（政友）の報告ありて可決此時議長は貴族院より廻附案あるを以て休憩する旨宣告す時に二時四十分（東京特電）

◎議會閉院式仰出さる

二十九日午前十一時貴族院に於て帝國議會閉院式を舉行の旨二十八日仰せ出されたり但當日は天皇陛下行幸あらせられず大隈首相勅命を奉じ勅語を奉讀する筈なり（東京特電）

◎保險法案兩院協議會

折衝遂に成る

簡易保險法案に對する兩院協議會は二十八日午前九時より兩院協議室に於て開會抽籤を以て當日の議長を選びしに林博太郎伯當選次で溝口雄幸氏（同志）より貴族院に於ける修正の理由を質問したるに山本達雄氏は昨日の本會議に於て述べたる所を敷衍して之に答へ片岡直温氏（同志）も亦修正箇條に就き補足質問し同じく山本達雄氏の説明あり一先づ懇談會を爲し貴族院側には何等か妥協の成案なきかと質したるに下岡忠治氏（公友）之は自分一個の意見なるも貴族院側に於て被保險人資格制限を撤廢せらるゝに於ては金額は二百五十圓には讓歩すべしと答へたるに山本達雄氏は余は全く反對なり政府が本保險案を提出したるは専ら下級民を救濟せんとする趣旨なれば金額の點は讓るべきも資格制限を撤廢するには全然反對なりと駁す仲小路廉氏下岡氏の説は衆議院協議員の一致せる意見なりやと質し溝口雄幸氏資格制限にして撤廢に同意を表さるゝに於ては金額低下の修正案には協議會員一同讓歩すべしと答へ仲小路氏然らば貴族院側の意見を纏むる必要あれば現狀の儘一時休憩すべしと述べ十時十分休憩

午前十一時再び午後零時十五分再開大西五一郎氏（中正）は衆議院は金額二百五十圓に贊成すべきに依り資格制限を撤廢せられたしと希望し仲小路廉氏築田鉾次郎氏の賛成意見ありし結果採決の結果十三對六にて左の修正案を作り兩院の本會議に報告する事となり一時十分散會したり（東京特電）

簡易生命保險法案（第三條）第一項中資格を削り其の他は貴族院の決議通りとす（東京特電）

◎文武官敍勳（定期）

二十八日文武官二百七十四名に對し定期敍勳の御沙汰ありたり其の重なる者左の如し（東京特電）

敍勳一等授瑞寶章　從一位勳二等　公爵　久我通久
敍勳二等授瑞寶章　正四位勳三等　京都帝國大學教授工學博士　田邊朔郎

◎釋宗演師

一時危篤に瀕し目下鎌倉山の内東慶寺内に療養中なる釋宗演禪師は經過良好にて最早普通面會をも出來得るに至れり

◎富田鐵之助氏

貴族院議員富田鐵之助氏は昨臘來病に罹り自邸に靜養中なりしが二十七日午後五時終に逝去せり（東京特電）

◎公立學校長打合會

京畿道管内に於ける公立學校長打合會は二十八日より三日間京畿道廳内宣化堂に開催出席學校長八十五人巡回教師高等女學校長高等普通學校長商業學校長其他にて合計百零四人にして其の日程は左の如し

▲二十八日、趣旨開陳、第一部打合　▲二十九日、道長官訓示、第一部打合、午後學務打合　▲三月一日、午前學校參觀、午後學務打合

◉親閲記念綬授與式

曩に御大禮大觀兵式並に大觀艦式に代表者をして參列せしめたる仁川、京城等の各在郷軍人分會に對して親閲記念綬を授與されたるを以て京城在郷軍人會にては來る三月十日の陸軍記念日に於て授與式を行ふべしと

人事消息

▲有賀定吉氏（[illegible]）二十八日[illegible]
▲クリーク氏（英國商人）二十八日[illegible]
▲橋本[illegible]氏（[illegible]）二十六日入京中[illegible]

□珍客來

大塊

手前目録の鮭ガク〱　虎耳

客因く僕む山路と咏む俳句

○遠近の霞む山路や馬の旅　大蛙

◉南普北語

▲獨佛國境方面の戰爭は大に活躍して獨軍は多大の犧牲を出してもヴェルダンを突破しようとして居る▲而して東部戰線の獨軍五十萬は大したものだ▲佛軍も亦た此の大軍を向に回して奮戰して居る處は天晴れだ▲要するに獨軍が遮二無二突破しようとして居るのは更に巴里包圍を目的として大に焦慮つて居るからだと云ふ▲佛軍の奮戰と共に露軍の奮戰は非常なもので實に破竹の勢ひで進で居る▲氣の短かい獨帝が此の方面の戰報を聞く時には何の樣な顏をして居るのだらう▲最う大概カイゼル髭もむしり盡して地團駄踏んで居るのだらうが餘り激怒とすると又た御病氣再發之れは救方もない▲其れに付けても英軍は何をして居るのか英國は恁渡聯合軍の勘定方をして居る樣なもので▲金で戰爭して居るから戰後に總計をして見ろと金は使つたが人間は各國程殺して居らぬ事になる▲媾和談判の時に何ならもう一遍やらうか俺の處にはまだ三百萬居るよ之れから愈々戰爭の實力を見せようか▲なんて來た時は各國もオヤ〱と顏見合すのだらう英國が外交には何と云つても矢つ張り上手た處がある▲何に何うせ金持は戰爭やりよいつて……成る程其うかも知れぬテ▲湖南方面の南北兩軍は戰機に熟して一大決戰をやらうとして居る▲上海の外交團では湖南の一部を交戰地と認め在留民に引揚げを命ずる相な▲ソレ〱早く手を廻さないと狂犬にかまれた樣な事になるからナア

□米の群山（十一）

中島生

朝鮮第一の米

米の群山が伸びた。停滯は禁物、サッサと捌かせる事だ。捌て、朝鮮の產業が今日は農を大本とさせる如く群山の背後地も農業殊に米作本位であり、之れが經濟の中心である。されば群山から出す品は殆ど農產物を以て占め、入る品も亦殆ど農民相手の需要品である。抑も群山の背後地たる全忠の大平野は夙に天惠豐かの地、さらぬだに『朝鮮の寶庫』なる讚稱に與かつて農產の多きを誇つて居りしに、群山が開港せられ内地人が資本と勞力と經驗とを此地方に注め、加ふるに當局者の熱心なる指導獎勵あり、今や他の如何なる方面よりも進歩發展したる農耕の狀態にあるは毫も異しむに足らぬ昔からの天惠に加へて人力の粹を以てするので、群山人士が『鬼に金棒』だと自慢するのも致方がない。

東西十二里南北二十五里の全忠平野其の大部分は水田で、此れ程の廣大なる水田は全道又他に見ることは出來ぬ、全羅北道の水田面積は十二萬一千餘町歩、忠清南道は十二萬七千餘町歩、水田と耕地との割合は全北は七割六分强、忠南は七割一分强に當り、十三道中に斯の如き比例を見ない

田地既に斯くの如し、米產の多き亦察するに足らず。今大正三年の米收穫高を見るに全北は百四十五萬餘石、忠南は百四十萬石餘、之を他道と比するに或は產額に於て兩道を凌ぐものはあれど、耕地面積農民の戸口數と比例したる產額に於て未だ之に比すべきものは無い。而して群山港の輸移出米は大正三年には約五十萬石に達し、四年には更に八九十萬石に增加したる事、群山米が阪神及び京濱市場にて鮮米中第一位の上格に在る事、群山輸移出米の約半數は改良種即ち内地種である事等を思へば群山背後地が朝鮮一の良米を最も多量に産出するといふ事實を否定は出來まい。

●討伐軍補充策及び其所[illegible]

[illegible]川方面六割五分、湖南方面百分の二十、廣西方面百分の十五なり、[illegible]せば同黨新兵を募集し[illegible]を以て袁總統は此[illegible]の關連法、新兵の簡易訓練法、新編制軍統計等の調査を命せり新募集の區域は直隷河南及び山東省にして第一期の募集[illegible]人に上るべき[illegible]

[illegible]革命黨の之が破壞を企つる者沿線に出沒するより袁總統は梁交通總長を召し嚴に警備すべき旨を命せり（北京）

[illegible]より段將軍は該黨首領の姓名を各地軍隊地方官に通知し嚴重なる取締を命せり（奉天）

[illegible]先頃二十八師長馮德林を招き協議の結果前記地方及び彰武縣北方の蒙地一帶を併せて二十八師の擔任區域に[illegible]れり（奉天）

[illegible]百六十二にして頗る猖獗を極めつゝあるを以て之れが豫防法として其の筋にては生水及び蜜等を飲食せざる樣勸めつゝあり又同道警察に於け[illegible]なる警戒に依り豫防の宜しきを得漸次減少しつゝあり（大邱）

●慶北桑田反別

慶北道各郡三千三百四十一反合計反別八千四百七十二反同見積反別九千[illegible]六十六反總計一萬八千に百三十八反なり（大邱）

中央大學豫科學生募集

○法科豫科（獨逸語）○商科豫科
○經濟科豫科

第一期生を募集す○豫科は各科大學部に入る豫備門なり○中學校卒業者及同資格者を無試驗にて入學せしむ○學生は總て在學中徴兵猶豫の特典を受く○來四月八日より新學期の授業を開始す○入學志望者は成るべく始業期日迄に申出らるべく詳細の學則入用の向きは郵券添附神田錦町中央大學教務係宛申込あるべし

本校は高等學校、高等商、工業學校、專門學校入學受驗者の爲め準備教育を施すを目的とす○中學校卒業者及同資格者を無試驗にて入學せしむ○新學期の授業は來る四月八日より開始す○明年度各官立學校に於ける入學試驗の成績は頗る好良にして何れも優等の地位を占め登第者の數も亦最も多し○入學志望者は成るべく始業期日迄に申出らるべく詳細の學則入用の向きは郵券添附申込あるべし

東京市神田區錦町　中央大學内　中央高等豫備校

重石高價購買

▲タングステン鑛石百分の拾より七十三迄含有の品高價現金買仕候
▲タングステン鑛山業者にして賣注ある方へは代金前渡し可仕候
▲タングステン鑛山所有者へは採鑛御引渡の御契約にも當工具及び人夫貸與等の立替の御相談に可應候
▲タングステン鑛石御拂渡の御契約に就き御用の方は鑛石小塊見本御送付の上御相談被下度候

京城貞洞七十五番地（電話二九三八番）　ジョージアーレン商會
（支店所在地　忠清北道清州）

朝鮮總督府法定消毒劑
無害　無毒
アイゼル
猩紅熱其他傳染病豫防新藥
宜香室
京城本町　電話八・一一五一七　井上藥品部

置屋開業　しな家

私は拾年餘り花月に仲居勤めを致して居りましたしなでムいます今回四五人の子供を抱へ三月一日より前記の個所に置屋を開業致す事になりましたから永當々々倍舊の御引立を御願申上げます

京城旭町三丁目　電話一五〇三番　前田しな

京城春川間自働車運轉廣告

京城春川間自働車營業を今月廿五日より開始仕り（毎日午前七時京城發）親切叮嚀に取扱可申候間御旅行の方は御乘車の程奉願上候

京城南大門通り一丁目二十二番地　廣橋京春自働車組　電話二一九番

齒科　辰市醫院
京城壽町八番地（加尾旅館ノ横）　齒科醫學士　辰市拾三郎

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢四厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黄金町　電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一〇番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

…役軍の第一線に用ふ…十萬人まで增加し更に…六師團人を第二線に配備する必要あり…其配の割合は第一第二線を通じて…豫算及び財源、…退伍兵徴集條例の制定、新兵給與の…臨時…兵役服役及び軍需品…統率辦事所に命じ…

◉京漢線警備嚴

京漢線は今や討伐軍の大動脈となり

近頃…匪黨が馬賊と結托し…器を內地に搬送し動亂を謀らんとする旨の偵報…奉天將軍署に達する…は元…師…北京に移…たるを以て段將軍は…しか…

チフストマ

慶尚北道義城の肺ヂストマ 最近の調査に據れば人口八萬四千に對し六…に至る一箇月間に亙る調査に據れば人口七萬七百二十名に對し百三十八名の患者にして衛生事務官憲の熱心…

…積反別七千六百十八反…八百九十七反、新設反別中反別千…九十三反見積反別二千百四十八反計…

◉酒飲みに清津まで

浦鹽の市民はアルコールに渇してゐる

軍需品の山＝歸化鮮人兵役を厭うて逃ぐ＝女車掌＝ウヰスキイ一本六圓＝甘酒も禁止

日本郵船の立神丸及び小倉丸の二船は二箇月に三回宛、船繰を以て內地より朝鮮を經て浦鹽に往復しつゝあり往航の際の積載貨物の九分迄は殆ど凡ての軍需品なりと云ふ右の內立神丸は二十五日浦鹽を發し途中清津に寄港二十七日未明元山に入港したり同汽船の二等船客にして多年浦鹽に於て商業を營み居たる某は戰亂のため經濟狀態の極度に耐へず一家を擧げて郷里長崎に歸國中なりと云ふ某船客の談に曰く

◆若者は一人も居らぬ と云つてよい位 戰爭が長引くため浦鹽及び沿海州一帶に亙り可成手足の働ける者は殆んど兵役に就いて若者らしい…日本人でも朝鮮人でも歸化した者で相當の若者はどし／＼兵に取られるからして近來朝鮮人なども歸化はしても兵役は嫌だとあつて每定期の便船が著すると普通鮮人の船客に混込んで鮮內地に引返して來る者が多い或は陸路琿春を經て咸鏡北道に逃げる者もある最初は露國官憲でも判らなかつたが近來段々判明して來て

◆朝鮮人の旅行 が非常に喧しくなつて來たそれかあらぬか從來露國を往來する旅券は一家族なれば一枚の旅券を以て通過出來たのであるけれども最近に至つては各個人別に旅券が必要になり而かも手續が繁雜になつて來た此樣にして兵員を一人でも多く增したいと勵める結果浦鹽市街の各種の各公衙私營の會社等で女の手で間に合ふものは成る可く

◆女を使用する ことにして居るそれでも電車の運轉手は兵役には適しさうにない男が使はれて居るが車掌とか切符賣とかは殆んど女を用ひて居る

■夜六時まで

此頃浦鹽に行つて見て第一に受ける印象は本國とは何千哩を隔てゝ居るにも拘らず成程這は交戰國民だなと云ふ氣分が街の隅々から人々の面の上にまでも何んとも云へぬ一種の

◆緊張した空氣 に滿ちて居るのは嬉しい樣に思ふそれでも朝の入時から晩の六時迄は營業を許されて居るが若し六時を過ぎても營業して居れば少なくとも二十圓以上の罰金に處せられるから夜間は三々五々群を爲して散步に出かける平素ならば先づ酒場にでも行つて一寸一杯と云ふ所だが御承知の通りに飲酒は嚴禁されて居るから絕對に出來ぬそれかと云つて

◆素面で馬鹿騷 ぎも出來ぬから種々苦心して酒を密かに取寄せる此樣に酒が喧しい爲めに從つて一般に珍重されて來ると利に拔目のない支那人は何處からか一本二本と酒を密賣する價の高いのは云ふ迄もなく渴して居る者に飲ますのだから平素の酒に何割かの水を打込んだ頗る怪しい酒だそれでも

◆買手の御當人 は一向そんなことに御頓着はないと見え壯々の大歡迎何んのことはない狐に化されて小便を飲まされたと云ふお伽噺の格だ酒飲程口賤しい者はありませんね、まあ此頃浦鹽で何が一番面白い社會の出來事かと云へば此禁酒から起つた市井の出來事ですね從つて警察事故の九割迄は飲酒の禁を破つたに原因したのが多い位だ

◆巡查の巡邏中 にでももしも三絃の音がしたり艶かしい女の聲が戶外に洩たりして居ると必ず此處には酒があるに相違ないと目星を打つて踏込むのである其時には客の方でも仕方なく二十圓の罰金より多少割引して貰つて五圓や十圓位の袖の下を握らせると無事に其場が納まる丁度此立神丸の二三回前の航海で浦鹽に入港して來た時でした日本人の紳士らしい人がポケツトウイスキーを一本

◆懷中に忍ばせ て居た事が稅關で發見されて早速例の罰金を科せうとしたものだから其日本人は何程かの露貨を稅關吏の面に拋つけて逃げ出したことさへあつた位ですそうかと思ふと其稅關吏の先生等が日本汽船の立神丸や小倉丸（現在は此二隻に限る）が浦鹽に入港するのを待ち兼ねて貨物の檢閱とは表面の體裁其實御酒の御馳走にあづかりたく檢査なんかもそこ／＼にして一寸一杯

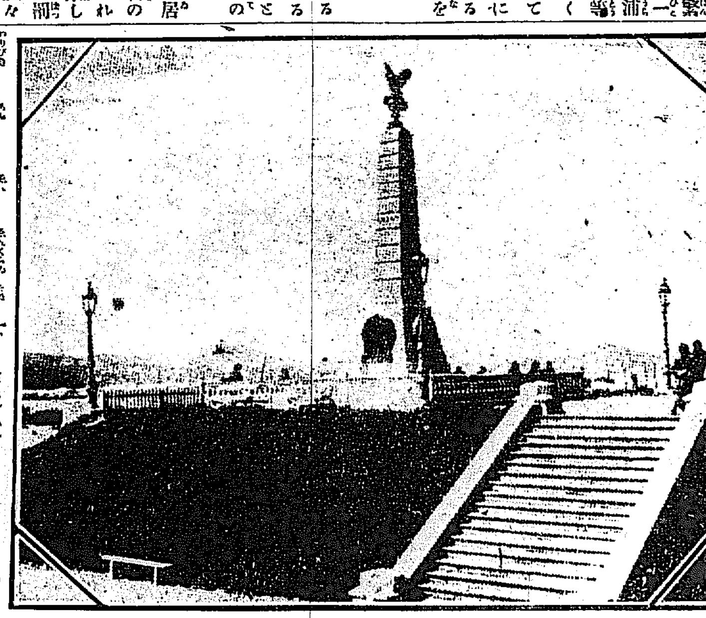
◆飲ませないか と來るんだと云ふから如何に露領の上戶黨が酒に渴して居るかゞ明るではありませんか

■法外の値段

こんな具合だから此酒は不味の彼の酒は駄目だのと贅澤は云つて居られず酒と名が附く以上は何んでも選ばぬと云ふ有樣外國汽船が這入つて來るのは酒で船客用だと云つても一度に第一に稅關官吏が喧しく云ふ

▼浦港碇泊中は 一切封印を付けて終ふ此間露領へ出稼する鮮人の一隊の內で巧みにポケツトウイスキー二本許りを持込んだ者があつたのを上戶黨が嗅出してあちらからもこちらからも申込が多く遂に一本六圓何十錢と云ふ法外の値段で賣られた位であつた、日本人の宅では米と云ふ食糧品があるからして米で甘酒を造り

▼醱酵させて飲 んで居るのもある併しこれも始めの內は露西亞官憲でも默つて居たが段々日本人の…



浦鹽大記念塔　酒に渴せる巷は此の塔の眞下に

…內で醉拂つた者や顏の赤い奴が多く見えたので家庭を批難…見出したから遂に稅關にもこれを發見して禁止した、けれども米や甘酒は日本人の當食で酒ではないと理屈をつけて今尚ほ盛んに飲んで居る

▼灘の生一本で 一本十圓…思出しては矢も楯も耐らず…かけたいと云ふ連中があつて…旅行でもして思切り飲みたいと云つて…

▼浦鹽で密賣の 酒を…

値も安く質も勝れた玩具いろ／＼

獨逸製に劣らず外國へ輸出する

◆子供騙しの玩具 も近來は精巧を極めた品が出來る、昔流行つたデン／＼太鼓に笙の笛も幾分名殘りを留めて居るが、兒童の心理狀態を考査したり、一時的でなく經濟上から打算した半永久的の品や、兒童の身體に害を與へぬもの、即ち危險な鉱力製を避けて木製、布製玩具が盛んに製られつゝある、而是ない兒童の心理狀態は刻々に變化するもので一日中同一の玩具を愛翫して居ることは滅多にないから、永久的の堅固な玩具は實際に歡迎されるか否か疑問であるが、布製のお伽噺、ボンチ納類は幼稚園から尋常一年位迄は大丈夫破損する氣遣ひはない殊に

◆新らしい試み として御大典紀念物や東京驛から橫濱まで驛名入りの鐵道紬卷木などが作られたが昔と異つて當世の子供は玩具にまで教育的の品を嗜好むやうになつたである、新らしい意匠は總て東京が本場であるが、東京では五六圓までの日本製玩具が賣れるが、其他の都市地方では漸く二三圓が止まりで子供の好きな大小來品である、獅子、兎などの玩具類は近來原料に大改良を加へ、セラ麻の動物を作り、又は木綿紙、擬紙の犬、象、獅子、虎、馬を細樣にして居る、見なぜから鳩、鷄まで巧に作つてある、また總木の屑物を利用して各種の玩具を作つて居るが

◆何れも價格低廉 で危險氣がないから坊ちやん孃ちやん方に歡迎されることは請合であらう、從來大將の大張子が精巧な品と變化すると同時に、尋常一二年生の兒童の玩具として獨逸の製品に負を取らぬカード式の組立紬が製作せられた、一枚、三四錢の安價で然も學校で習ふ手工應用の面白味が添ふから是も亦喜ばれる玩具である總じて質も勝れた品で濠洲印度方面へ盛んに輸出されて居る、木製ででは兒童の好きな電車、自働車類の中に種々巧妙なものがある、他奈良名產の一刀彫、奈良人形、人形なども相當に海外へ輸出される

◉新開地の賑ひの裏に潛む悲劇

慣れぬ手の水商賣＝束の間の榮に

六年と云へば可成に長い月日を羅南の兵營で機織燃を勸めて日給何十錢かの收入で伴女房は女かみ結をして稼ぎ若干の金を得て居つた夫婦に女の子の三人暮しの內地人があつた樣に追付く貧乏なし

回挨も積れば 山となす例で六年の間乞食同樣にして貯めた金が千圓近くなつた所謂血の汗の固りである丁度清會線鐵道工事中の難工事と云はれた茂山嶺の隧道工事が始まつて三千人かの日鮮支那人勞働者が集り嶺の蒼坪と云ふ一寒村は變じて一市街を爲すだらうと聞いた時に

回日頃の蓄財 を投ずるは此時なりと羅南の家を疊つて蒼坪に移住したのは前記の夫婦者で時は一昨年の春頃だと云ふ、清津や其他田舍でごろ／＼して居る素より怪しげな女を數人抱へて蒼坪に乘込み何な樣と云ふは名許りバラツク建の料理屋を設けて

回稻荷樣を祭 つて千客萬來の準備全く整つた時に來るは／＼昨日は十八人今日は廿人と引きも切らぬ大繁昌外から見れば稻荷の神でも舞込んだ樣な勢であつたが其實現金の支拂と云ふは皆無と云ふ有樣それに引代へ一方材料の仕入は大抵

回現金のため に入るものは這入らず出すものは出さなければならぬと云ふ破目になつて半年を經たぬ內に小千圓の資本は勿論反つて多大の債務を背負ひ遂に夫婦の血を分けた可憐な娘を羅南の花街に賣ると云ふ樣な悲慘なことになつた經驗こととは云ひながら六年の苦心を

回水泡に歸し た此夫婦の失望は同情す可きものであらう夫婦の情や親子の愛に繫がれて死ぬに死なれぬ露の命を繫いでがらも娘を賣つた幾何の金で小店を開いて生計を營んで居ると云ふことだ記者は茂山嶺下蒼坪の客舍で此話を耳にして一種悽愴の情を催すと共にかうした

回人生一面の ローマンスが彼方にも此方にも未だ人に知られずして橫はつて居ようとそれとはなく聞いて見れば獨り蒼坪と云はず一寸した五軒十軒の山間僻地にさへ數知れずあると云ふことだ中にも前記の蒼坪は消食

回鐵道工事中 に於て一番多數の勞働者が集まつて居る所であるからして此勞働者を相手に一儲せんものと四方八方から蝟集して來た內地人又は朝鮮人の商家が何十軒となくある此商店の內で普通の日用品は大抵現金で取引せらるけれども料理屋となれば決して現金で支拂をしない借し

回飲食の料金 は拂はなくても…婦の揚代は現金が多いと云ふのをせめての商旧にして營業を行つて居るのが…工事期間中だけのことなれば賃物も一時的のものだから…商店は大部分…新開地を日常に…如何な商業をして行く…一種の旅商人…これらの醜業婦と開いては何たる悲劇であらう…清會線の沿道に…行く女の群れが…二百人近く居ると聞いては何たる悲劇であらう（清會線沿道にて）

◉廓の目耳を劈く拳銃の音

青年の自殺未遂

南大門通新町…宅九一（二三）は廿八日早朝…遊廓東洋樓に登樓し二階の一室に通されて暫時の後同人は仲居の處に降りたる際に携へ來りたる六連發ピストルを以て自殺を圖りたるも彈は咽喉部を外れ九一は鮮血に染まりて打倒れたるも死に切れず苦悶し居たるが銃聲と共に廓の事とてソレ情死よ殺人よと一時に非常なる騷ぎとなり九一は直ちに慈惠病院に收容せられ應急手當の結果生命には別條なしと自殺を圖りたる原因は同人は性來の放蕩者にて少からず主人の金を使ひ込みしより其の罪科を恐れ死を決したるなりと（平壤電話）

◉右半身に無數の散彈!!

銃砲店員の奇禍

平安南道江西郡咸從面雜貨商森田豐吉（三七）は自己所有の十番口徑二連發銃の修繕を爲さんとして二十七日午後九時頃平壤大和町丸吉銃砲店に來り銃砲を店員に示し不注意にも裝彈の儘銃の儀が惡くなつたと銃の引金を引くと同時に轟然發射し店員森木淸一（三八）は右腕及び胴に無數の散彈を受け重傷を負ひたり（平壤電話）

◉豆腐の賣聲が小癪だ

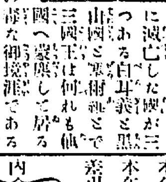
＝と毆り付けた亂暴者＝

京城鍾路洞荷車挽裵萬種（三〇）は二十七日午後六時頃泥醉して鍾路五丁目を通行の際觀水洞の金九瑞（二）の豆腐の賣聲喧しとて口論となり…萬種は金九瑞の豆腐箱を破壞したるより訴へられ萬種は鍾路署にて目下…の上豆腐十個代（二十錢）を辨償することゝなり事濟みとなる

◉盜んで下宿拂ひ

熊本縣…郡木所村當時京城旭町一丁目中村某方に同居洋服職工吉松新八（二）は二月二十日午後九時頃同宿人田那部某が外出不在中同人の黑羅紗マント一枚外一點（二十八圓八十錢）を竊取し之を同日櫻井町二丁目の小池質屋に十圓に入質し下宿料其他に消費したる爲め本町署にて取調べの上檢事局に送らる

シンガポール產 美人印パインアップル（新著荷）
白馬印
釜山 ビワコ屋



▲歐洲戰亂の爲めに滅亡した國が三つある白耳義と塞爾比と黑山國と三國の王は何れも他國へ蒙塵して居る ▲何れも劣らぬ氣の毒な御境涯である其の中でも塞國王ピーター一世陛下の御上こそ御同情申しあぐるに餘りある ▲王は祖國の潰滅と同時にアルバニヤに逃れヴラゾから伊太利の軍艦に便乘してバロナまで行かれた時など王は老體と病氣との爲めに疲れ切つた身體を漸く擔架で上陸された位である ▲而してバロナで王の宿泊された宿屋と云ふのが見るも哀れな陋屋であつて王の附添人として通譯を兼ねた軍隊がたつた一人切りであつた ▲宿の主人が何の部屋でも御選み下さいと云ふと王は余は部屋代として支拂ふべき金の一片をも持つて居らぬ故にお前の情けで何處でも宜いから泊めてくれろ ▲余は最早國王の身分ではない從つて何等の人を指揮する樣な權力を持つて居らぬ ▲余は明日知れぬ生命であるがせめて再び我軍が勝利を得て正義の凱旋を擧げる迄生き延びて居たいものだと涙を呑まれたさうである ▲王は今ではネープルスに近きカゼルタの一旅館に憐れむべき一流浪の人となつて淋しく死期の來るのを待つて居る。

京城學校組合告示第一號

京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日

朝鮮總督府府尹　金谷充

滿蒙處分論 京城日報代理部 振替貯金京城…

大正四年度決算報告

貸借對照表

科目	金額
資產	
未拂込株金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
現金	[illegible]
郵便振替貯金	參八〇、〇五七、武壹七
及銀行預金	參八五、參八五、六五五
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
不動產及什器	[illegible]
未收利息	[illegible]
未收保險料	[illegible]
支店及出張所勘定	[illegible]
代理店勘定	[illegible]
假拂金	[illegible]
敷地買入內渡金	[illegible]
合計	[illegible]
負債	
株金	[illegible]
法定準備金	[illegible]
責任準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
保險契約者積立金	[illegible]
株主再配當金	[illegible]
株主配當積立金	[illegible]
保險契約者配當未拂金	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
利益金計	[illegible]
合計	[illegible]
本年度總利益金	[illegible]
本年度總損金	[illegible]
差引利益金	[illegible]
內 法定準備金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
株主配當金	[illegible]
株主再配當積立金	[illegible]
保險契約者配當積立金	[illegible]
配當積立金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

大正五年二月

東洋生命保險株式會社

取締役社長　尾高次郎
專務取締役　佐々木清麿
常務取締役　福島宜三
取締役　日下義雄
取締役　西谷金藏
取締役　古城菅堂
監査役　鎌田勝太郎
監査役　井上敏夫

追テ取締役任期滿了ノ處再選重任セリ

種苗　目錄申込次第進呈
▲朝鮮の農家は寒地なる弊園の種子を用ゐよ
▲寒地の種子は早熟強健豐產なる大特色あり
▲弊園は世界に於ける最新種を育成す
弘前市取上田町　北日本農園　振替東京二〇三六九

模範 純粹培養 牛乳 ヨーグルト
公正認可 東亞牧場

味噌をするがの富士の山より高評の ヨキ味噌
おかーさん、ぼくこの味噌がだい好きよ
製造元 遠藤廣吉商店（電話九八二番）

堅牢にして優美なる高價品御希望の方は京都本場製一手販賣元小倉佛具店へ御註文を乞ふ
京城本町二丁目（花月樓向ひ）
京都調製 名宗佛具位牌佛壇金銀箔粉
小倉佛具店 電話一五七一番

滿鮮第一 漬物佃煮問屋 鳴屋本店 京城岡崎町

石炭 明治町一 村山商行（電話一〇五一番）

京城春川間開業 乘合自働車
京城驛⋯⋯午前七時 春川驛⋯⋯午後二時 片道賃金四圓
京城水標橋九十番 京春自働車商會 電話三三八

營業案內

毛皮なめし 御用命仰付被下度候 京城本町二丁目 日東商會 電話二二〇番

山東 關東 青島 原鹽 再製 粉碎 各種販賣 仁川濱町八 鹽販賣所 電話二四〇

貸家 長谷川町五八番地所在煉瓦造二階家屋數棟あり、家賃八圓より五十五圓迄 同番地ゴルシヤルキーへ御申込を請ふ

千生瓢 (130)

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋（四）

此の時瑞龍寺の城には、織田新八郎信包を大將として、峰信濃守、平田壹岐守等一萬五千を以つて防禦してゐたのであるが、北國平定の消息を得た士卒は、孰れも落足になつて參々伍々間道を求めて、城外に遁れ去る者引きも切らず、所詮寡兵を以て守備のなるべきにもあらねば、斷然城を捨てゝ、岐阜の本城に合する事としたので、さしも要害と恃んだ瑞龍寺の山城も、自然に空城となつて、敵の手中に委ねたのであつた。

岐阜の城に在つては、神戸侍從信孝、新に新八郎信包を得て、稍や力強くは思つたものゝ、當城にても敵を見るゝ士卒の、夜に紛れて落ち行く者少なからぬ處へ、寄手は新に加勢を得て、都合六萬有餘の大軍となり、唯だ一揉みと攻め寄せた、信孝固より物に怯えぬ大將であるから、今は此方より討つて出で、思ひのまゝに敵を惱して、花々しき討死を遂げんものと、早速勢を取り調べると、今は僅に一千有餘と註されるに過ぎなかつた。信孝きつと心を決して、籠城を締くるに於ては、此人數にて囿むること思ひも寄らず、城を出て敵中に切り入り、縱横無盡に切り捲つて、討死を遂ぐるに於ては、此人數でも澤山である。いで〳〵一戰して最後の勇名を止めようぞと、一千餘騎を三段に備へ、大手の木戸を八文字に開かせて、喚き叫んで打つて出たが、敵は見るより陣を退いて、唯だ遠矢にかけて射さしめるばかり、更に近いて槍を交へようともせぬので、信孝も太く英氣を挫かれた。さらば、主も知らぬ矢に中つて、空しく死するも望みでない。此上は城に歸つて、潔よく生害せんと、士卒を纏めて引ければ、今は二百餘騎を止むるのみであつた。

信孝の城に入ると同時に、寄手の中より筒井陽舜坊法印順慶の家臣松倉右近入道西安、並に箸尾宮内といふ者、城際まで來ていふやう、「慮外ながら、當城の落去も遠からずと見えて候ふ。速かに御開城あるべき歟。左候ふに於ては、順慶乾度筑前守に勸め申して、一國を進じ申すやう、取扱ひ申すべきにて候ふ、疾く〳〵御賢慮在らせられ候へ」城門の守將之を聞き取つて、其旨信孝に申し上ぐる。信孝は冷かに一笑していふやう。

「我等、叔母聟柴田と固く約を致した事があるに依つて、柴田を守つて兵を出し、共れが爲めに滅亡に及んだぞや。今に及んで我等一人生き殘つて何とする。速かに冥土黃泉に赴いて、柴田と共に父右府の尊靈に仕へまつらうとこそ思へ、何の面目あつて、下司下郎の猿奴に降を乞ひ、僅に一國を申し請けうや。此よし逃なく陽舜坊が使に申し、二度再び入るゝ事無用と申せ」と、一向耳を假す氣色もなかつた。

松倉西安入道を追つ返したのち家臣峯右より、左より、此處にての生害を止め、只管開城を乞うて已まなかつたので、信孝も彼等の心を憐れみ遂に城を開く事とした。斯て今まで踏み止まつた純忠の將士を集め、「其方共の忠義に依つて、今日まで城を保ち得た段、信孝の滿足此上はない。去りながら皆々信孝が生害を促がず、一先當城を開いて、時機を見てまた思ひ立て。今は生害を急ぐに及ばぬと申し諫むるに依つて、惜しからぬ命を保ち、惜しき城をば捨つるぞや。此間各々の苦勞、何とも禮の申し樣も知らず、信孝が世を代へてまで、嬉しく存ずる。城中物乏しけれど、共々に分配して、心靜かに退散し、何れへなりとも主取りせよ。我等は尾張の方に赴くであらう緣あらば重ねて」と言つて、兩手を面に掩つて泣いた。將士は一人も能く仰ぎ見る者はなかつた。

斯やうにして岐阜城は開かれた。神戸侍從信孝は、五十餘人の近侍とともに、尾張國知多郡野間の內海に退轉して、大御堂に閑居の身とはなつたのである。

ロオンドル會詠草（四）

氷

氷割る鉾の先き陽に輝くよ　鴨原
荷物待つ火を噴く汽車は氷る夜を　逸鹿
尾上晴れ氷湖に夕日漂へる　兎國
氷鋸明暮れ土手の木立澄む　芳山
探氷場の焚火に日毎鴨く鴎　同

多田

多田道を唄ふ兒に鶏飛ぶ頻り　鴨原
風呂の煙棚曳きて多田暮れ始む　同
土手裏を汽車過ぎて多田月となり　兎國
鑛山下るトロの響きや多田風　同
多田風落ちて陸手に陽伸びぬ　逸鹿
多田過ぎ海碧き温泉二階佳き　芳山
鴨飛ぶや夕空に歸路多田のみ　同

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病　專門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔瘻　皮膚病
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話四一九番

■共鳴して（月選）

薬に埋まりて綯ふ嘲れり　羽
玄關の下駄の柾目を嘲りぬ　同
畑ツ切りし足跡嘲れり　同
嘲りに爐邊を打つ蠅叩あり　同
鯛くさき水の落ち口を嘲る　同
嫁薬営きの伸よし二人嘲り　雙
山深からず煙草にこし嘲れり　田
生姜香に立つ庖丁を嘲れり　同
嘲りに下積みの炭こぼれたる　同
嘲りに薪割る下手が屑多き　柿

讀者の欽分

仁川の下宿屋の女中を妻にして居る某信孝實に貫ふ非常に大にあるが誰れも知らぬものと見えて「■」には何とか風說がよいですか（投書家）▲まだ宜いです

（大雙生）▲貴社の歌壇募集はまだドシ〳〵願います（係）▲近頃京城には狂犬が絕えたものと見えて其の筋も聞かぬが大丈夫でせうか（小供の親）▲一錢五厘の損をして迄も借金さんは軍用彈除器を發明して世界の兵隊さんの命を取り兵隊さんの戰死せぬ樣に陸軍省に願に願ひを出し中世の珍を借りて出版して一本の書は三十圓とられて米は三合買の生活で私の貸金は何時掃ふ積りか（近所から早く拂へ）▲本郡邑內に東山吟社と云ふ句會が毎週一回宛開かれて居ますが木浦あたりで隨分埒を開へた宗匠も居られる樣ですが之を貴紙に投書しても宜しうございますか尙日報俳壇に折なく出して見度いと思ひます下さい（全南長城郡郎生）▲句會報は一回の分一人一句宛ならば餘白のある時載せても宜し日報俳壇投句規定が投書規定あらば葉書欄にて御教へは時々出して居ります（係）

■コツパ會五句集を募る　同

題　春風一（三月五日締切り）

會員外の投稿を歡迎す　京城古市町六七　村瀬川柳方

遠江大蘇庵十洲宗匠選
九番會第二回選句

山茶花や矢叫のする國宜か家　水戶
山茶花や世な物れもの、柴折門　同人
衣食住足りと世話しや年の暮　月
打ちもせかぬ高瀬の流れかな　■■
野せし身も空しく暮れにけり　孤
美しき家庭の中や近垣　抱
休日を一家まとゐのこた　天
うたゝ寢も揺り起さし相撲哉　凰
紛に濱て浸すかな施聞く哉　保
勤眼や二王のやうな組の誤　桂
由の國な踏めて解釋　豐
裸に山茶花や間奥衛家の沱　孤
山茶花や向ふ相撲かな居　■■
山な接く力を移して相撲哉　水戶

人　地　天　加
大將や文武の威の二た柱　選者

新刊紹介

▲ポケツト雜誌（一〇三）[illegible]
▲無冠宰相大隈論　[illegible]
▲英語研究（二の三）[illegible]
▲鑛業新報（一七〇）[illegible]
▲學生（七の三）[illegible]
▲東洋時報（二〇九）[illegible]
▲婦人畫報　[illegible]
▲日本一（二の三）[illegible]
▲婁（八九）[illegible]
▲東京魁新聞（三一七）[illegible]
▲佛書研究（一七）[illegible]
▲小學生（六三）[illegible]

大邱覆審法院通譯生　山之井麟治著

再版　訂正增補　新譯鮮語

●四六版●定價五十五錢　●三百餘頁●郵税六錢

●解譯自在●習慣寛知●事務敏捷●携帶至便

本書は鮮人と交渉頻繁の往復、受授を爲し又は鮮人の提出に係る訴願、請願、届書等に對して處決を與へらるべき地位にある人にして、未だ朝鮮の熟語、俗字に通せず、爲めに一々翻譯に付せしむるの煩を除かん目的を以て刊行したるものにして、然て未だ曾く知られざる朝鮮の風俗、慣習をも容易に通知し得らるゝ點に於て聊か他書と趣を異にせり。本書は文獻、備考、禮典、大典會、通、古代詞訟書類、俚諺を始め、其他趣味ありと信じたる朝鮮通書數十卷を參考として、二千三百餘語を蒐集し、之に解說を施したるも、尙不備を補ふ爲め附錄として、左の諸種の問題を設けたり…

玉村書店發行

至廉至便の國民百科辭典

大正五年國民年鑑

四六版壹千頁　並製五十錢　上製壹圓　郵税各十二錢（民友社發行）

一千頁五十錢の圖書ありや

紙價の暴騰は印刷料の値上げとなり、遂に出版界は既刊書籍の二割增しを決議せり。されど國民年鑑は依然として壹千頁五十錢の安價を支持せんとす。抑も本書の各社會に歡迎せらるゝ主なる理由は、其の實益無比無盡藏なること、定價の至廉他に匹儔を見ざる點にあり。今や出版界は紙價の暴騰こと、印刷料の値上げを以て大恐慌に襲はれんとす。されど國民年鑑は暫く此の影響を蒙ることなく、啻く各社會人士の註文に應ずべし。蓋し是本社が本書各種の原料を事前に仕入し置けるが爲に外ならず。今後若し本社貯藏の各種原料盡くるが如きことあらば、或は値上斷行の已むなきに至るやも計られず。値上の厄に逢はざる內至急御註文あらんことを切望す

朝鮮產業指針

朝鮮總督　伯爵　寺內正毅閣下題字　監修
朝鮮總督府政務總監　山縣伊三郎閣下題字　同
朝鮮總督府農商工部長官　石塚英藏閣下序文　編者　大橋清三郎
勸業模範場長　農學博士　本田幸介閣下序文　同　川端源太郎
同　三輪信一

總クロース　四六倍版　四百九十頁　寸法（縱九寸五分、橫六寸二分）　挿模樣入　千五百頁（活字）　美麗製本　定價金五圓　郵税金二十四錢

本書は始政五年記念朝鮮物產共進會に各當業者が當局の獎勵を要求したる事業の經營方法及成績に關する記述書中農業、拓殖、林業、鑛業、水產、金融等を主として直接產業に關する記述書を採擇編纂したるものにして之れに附加するに李王職を始め重要官衙、銀行の事業を以てし尙且總督府の施設を以てしたるは官と民との兩面より如何に朝鮮產業の改良發達に努力せられつゝあるかを、最も適確に紹介せんと欲するの微衷に外ならず、木田博士序文中の一節に曰く「共進會展示の出品物たる農產と水產と其の他の生產とを問はず、各人勤勞の結果にして之によりて裨益する所尠なからざりしと雖も、吾人の更らに知らんと欲する所のものは該生產物か如何の計畫如何の方法如何の勞作及經費によりて提供せられたるかに在り、然るに不幸にして多數の觀覽者は概ぬ生產品のみを見て事業成績書を逸し或は學理に據り或は實驗に基き、一生の心血を注き、最善の努力を盡し或は多大の資財を抛ちて成りたるものなるを知るに由なかりしは、余儕の最も遺憾とする所なりき。今者開發社諸子が本書を編纂し美を拔き粹を萃め之を奇剛に附し朝鮮產業の發達及改良に資せんとするは、蓋し近來の快擧と云ふべし云々」蓋に能く本書の眞價を發揮せられたるもの謹で茲に錄し敢て自贊せす

要之、本書は朝鮮の產業は如何の情態にある乎の質問に對する最も適實切當の答案として見るを得べく、政治家事業家技術家其他如何なる階級を問はず一日も座右に缺くべからざる寶鑑にして復た指針たるを疑はず、我社が此送舊迎新に際し本書を提供するを得たるは最も光榮とし且滿足する所なり（開發社發行）

發賣元　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

商況

▲大阪株式特電

[illegible]

▲臨時增資徵收　[illegible]

▲夫れ何の意ぞ　[illegible]

▲今續て賣る　[illegible]

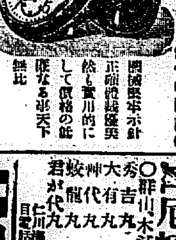
▲しろ筋の買　[illegible]

平均　[illegible]

醇良清酒

製造發賣元　大阪府東市　肥塚源次郎
特約販賣店　京城本町二丁目　佐藤牧太郎
特約販賣店　同本町三丁目　明治屋支店

朝鮮總督府警務總監部御檢定濟
花柳病專門藥
梅毒新藥　一週間分　壹圓廿錢
淋病特効藥　一週間分　壹圓廿錢
病特製新藥　壹圓五拾錢
本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用とに依り驅梅治淋に最も卓効を有する諸種の新藥を主劑とし健胃の良劑を極めて合理的に配合調劑したるを以て花柳病疾患に服用し安全に治療の目的を遂し得る最新良藥なり
製劑本舖東京澁谷　東京ドラッグ商會
京城永樂町三丁目　京東ドラッグ商會　滿鮮本部



●新荷着アンクル式片側懷中時計●
[illegible]
輸入時計、蓄音器、自轉車、洋酒、各國寶石、ミシン機
直輸入商　イングレッシー商會
本店　京城本町二丁目　電話九七二番

尼崎汽船仁出帆
仁川、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸　三月　日後四時出帆
大有丸　月　日後　時出帆
神代丸　月　日　時出帆
蛟龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日　時出帆
仁川海岸通　杉回漕部

朝鮮郵船
京城南大門通　松原運送店
全羅丸　三月三日　釜山發
京畿丸　三月十三日
黃海丸　三月七日
成鏡丸　　釜山發
慶尙丸　三月四日　元山發
昌平丸　三月二十日
城平丸　三月八日
清津丸　三月二十日　元山發
忠清丸　三月八日
咸興丸　毎月廿八回　元山發
永興丸　三月七日　釜山發
釜山丸　毎日（釜山浦項）發
江陵丸　三月五日　釜山發
義州丸
三浦丸　三月　何日　釜山發
海州丸
慶興丸　三月四日　木浦發
順天丸　三月二十日　木浦發
公州丸　三月一日　木浦發
金州丸　三月六日　木浦發
江原丸　三月二十日　仁川發
首陽丸　三月七日　仁川發
漢水丸　三月三日　仁川發
首州丸　三月八日　仁川發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸　三月四日　群山發
平安丸　三月八日　若松發

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　神丸　二月　日後五時出帆
○元山清津浦鹽行　立神丸　三月十六日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　三月　七日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　二月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三翠平丸　三月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三翠平丸　三月　一日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　大與丸　毎月三日九日十三日十六日二十一日二十六日　午後十時出帆
釜山本町五丁目　大池回漕部

共同汽船仁出帆
阿波國共同汽船會社支店　仁川出帆
共同丸　二月　日後二時入港
二月廿九日前九時出帆
鎮南浦、群山、木浦、釜山にて寄港
第一順鶴丸　月　日後九時出帆
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三　月　日前八時出帆
（元山出帆）阿波國共同汽船株式會社
本町二丁目　電話一〇六番　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城代理店　河村運送店